

X 經年比較

XI 経年比較

1. 経年変化の目的

平成16年度、平成19年度、平成22年度に4県（三重県・和歌山県・徳島県・高知県）が共同で地震・津波県民意識調査、平成25年度、平成27年度、平成30年度、令和3年度に地震・津波に対する県民意識調査を実施しており、結果を比較することにより、これまで行ってきた防災策を評価するとともに、今後の防災対策の進め方に反映させることが目的である。

2. 経年変化の事項

(1) 南海トラフ地震に関する認識について

南海トラフ地震について知っていたか／自宅や地域にどのような危険があるか／緊急地震速報をテレビなどで知ったときどうするか

(2) 津波避難対策について

津波で浸水が予測される地域かどうか／津波が到達する時間や浸水する深さを知っているか／いつ避難するか／避難場所を確認しているか／避難場所や避難通路に対してどのような不安があるか

(3) 家庭での備えについて

飲料水・食料の備蓄状況／備蓄していない理由／南海トラフ地震などへの備えとして何を行っているか／地震に備えるための保険や共済に加入しているか／

(4) 地震の揺れ対策について

・家具や家電などの固定について

家具や家電などを固定しているか／固定していない理由／補助制度を知っているか／固定を促進するために県や市町村では何をすべきか

・ブロック塀などの倒壊防止について

自宅の敷地内にブロック塀や石瓶、門柱などがあるか／安全性の点検の実施状況／点検していない理由／補助制度を知っているか／倒壊防止を促進するために県や市町村は何をすべきか

・住宅の耐震化について

補助制度を知っているか／耐震改修工事や設計の自己負担許容額／

(5) 地震火災対策について

地震時の火災が大規模火災に発展する可能性があることを知っていたか／感震ブレーカーを知っているか／感震ブレーカーを設置しているか／感震ブレーカーを設置していない理由

(6) 自主防災組織について

自主防災組織の活動への参加状況／地域の自主防災組織の活動状況／これからこういった活動に取り組んでいけばよいか

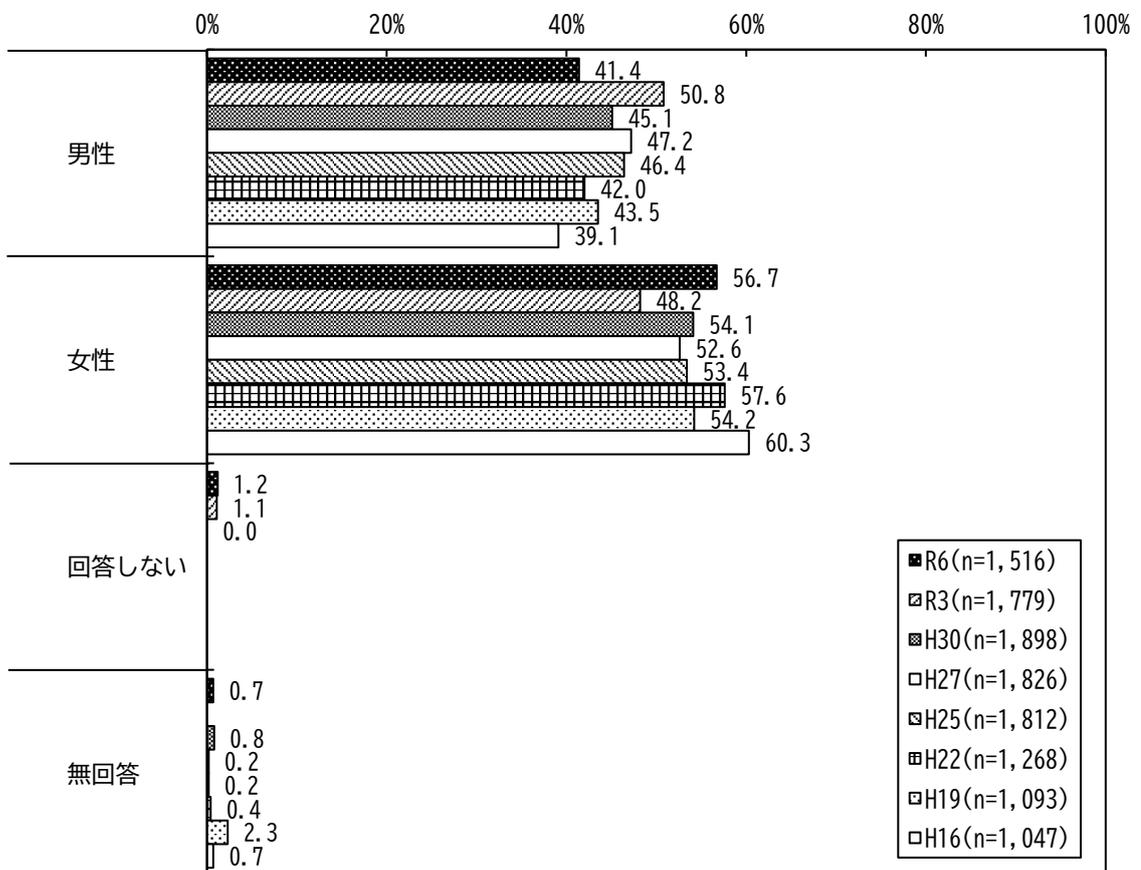
(7) 地域の防災力について

地域や職場の地震防災訓練への参加状況／どのような訓練に参加したか／どうすれば参加人数が増えると思うか／地域の防災力を高めるためにはどのようなことが必要か

問1 ①性別

上段：人数
下段：%

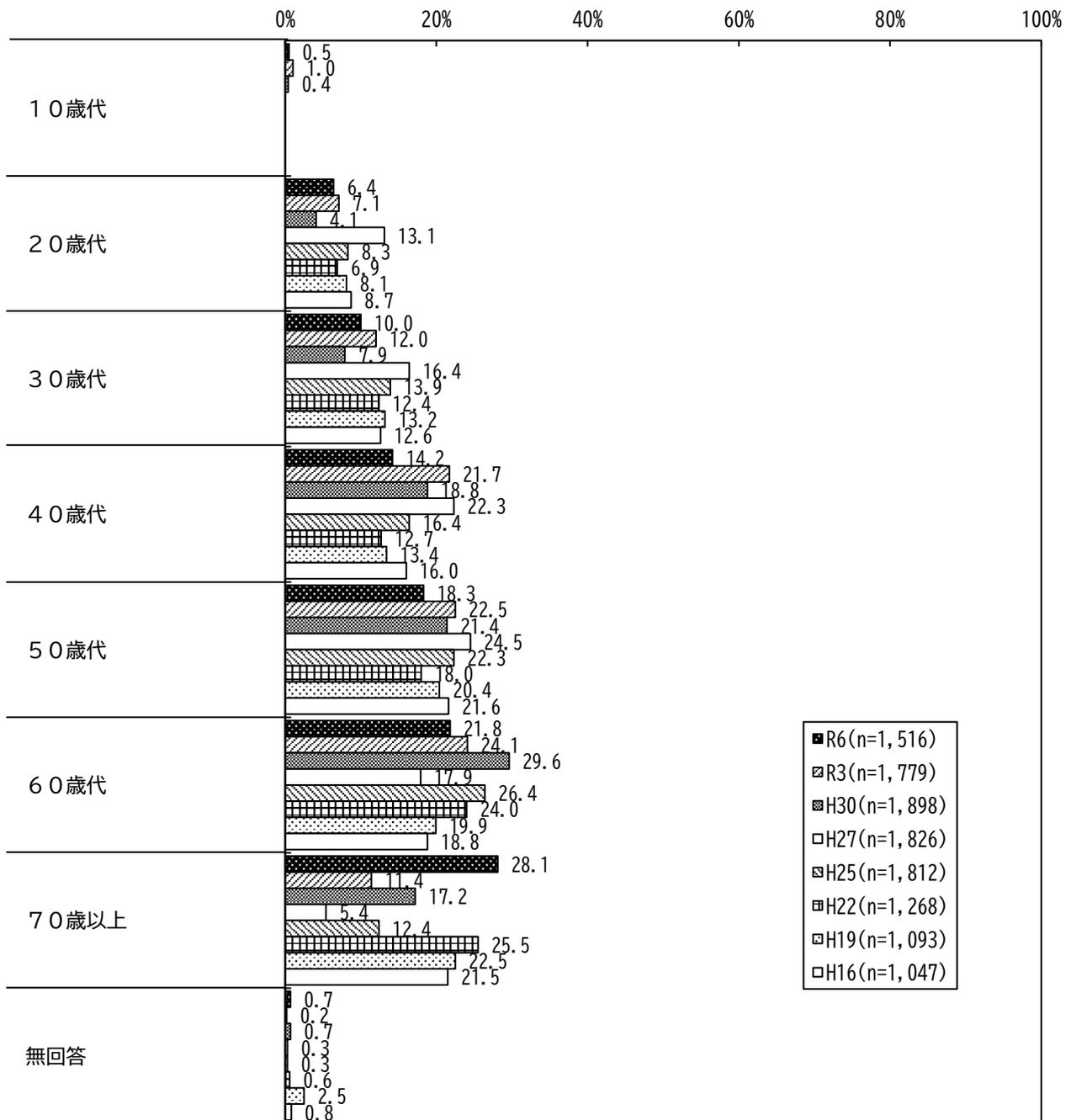
	男性	女性	回答しない	無回答	合計
R6	627 41.4	860 56.7	18 1.2	11 0.7	1,516 100.0
R3	903 50.8	857 48.2	19 1.1	- -	1,779 100.0
H30	856 45.1	1,026 54.1	0 0.0	16 0.8	1,898 100.0
H27	861 47.2	961 52.6	- -	4 0.2	1,826 100.0
H25	840 46.4	968 53.4	- -	4 0.2	1,812 100.0
H22	533 42.0	730 57.6	- -	5 0.4	1,268 100.0
H19	476 43.5	592 54.2	- -	25 2.3	1,093 100.0
H16	409 39.1	631 60.3	- -	7 0.7	1,047 100.0



問1 ②年齢

上段：人数
下段：%

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答	合計
R6	7 0.5	97 6.4	151 10.0	216 14.2	278 18.3	331 21.8	426 28.1	10 0.7	1,516 100.0
R3	18 1.0	126 7.1	214 12.0	386 21.7	400 22.5	428 24.1	203 11.4	4 0.2	1,779 100.0
H30	7 0.4	78 4.1	149 7.9	356 18.8	406 21.4	562 29.6	326 17.2	14 0.7	1,898 100.0
H27	- -	240 13.1	300 16.4	407 22.3	448 24.5	326 17.9	99 5.4	6 0.3	1,826 100.0
H25	- -	151 8.3	251 13.9	297 16.4	404 22.3	479 26.4	224 12.4	6 0.3	1,812 100.0
H22	- -	87 6.9	157 12.4	161 12.7	228 18.0	304 24.0	323 25.5	8 0.6	1,268 100.0
H19	- -	89 8.1	144 13.2	146 13.4	223 20.4	218 19.9	246 22.5	27 2.5	1,093 100.0
H16	- -	91 8.7	132 12.6	168 16.0	226 21.6	197 18.8	225 21.5	8 0.8	1,047 100.0



問1 ③職業

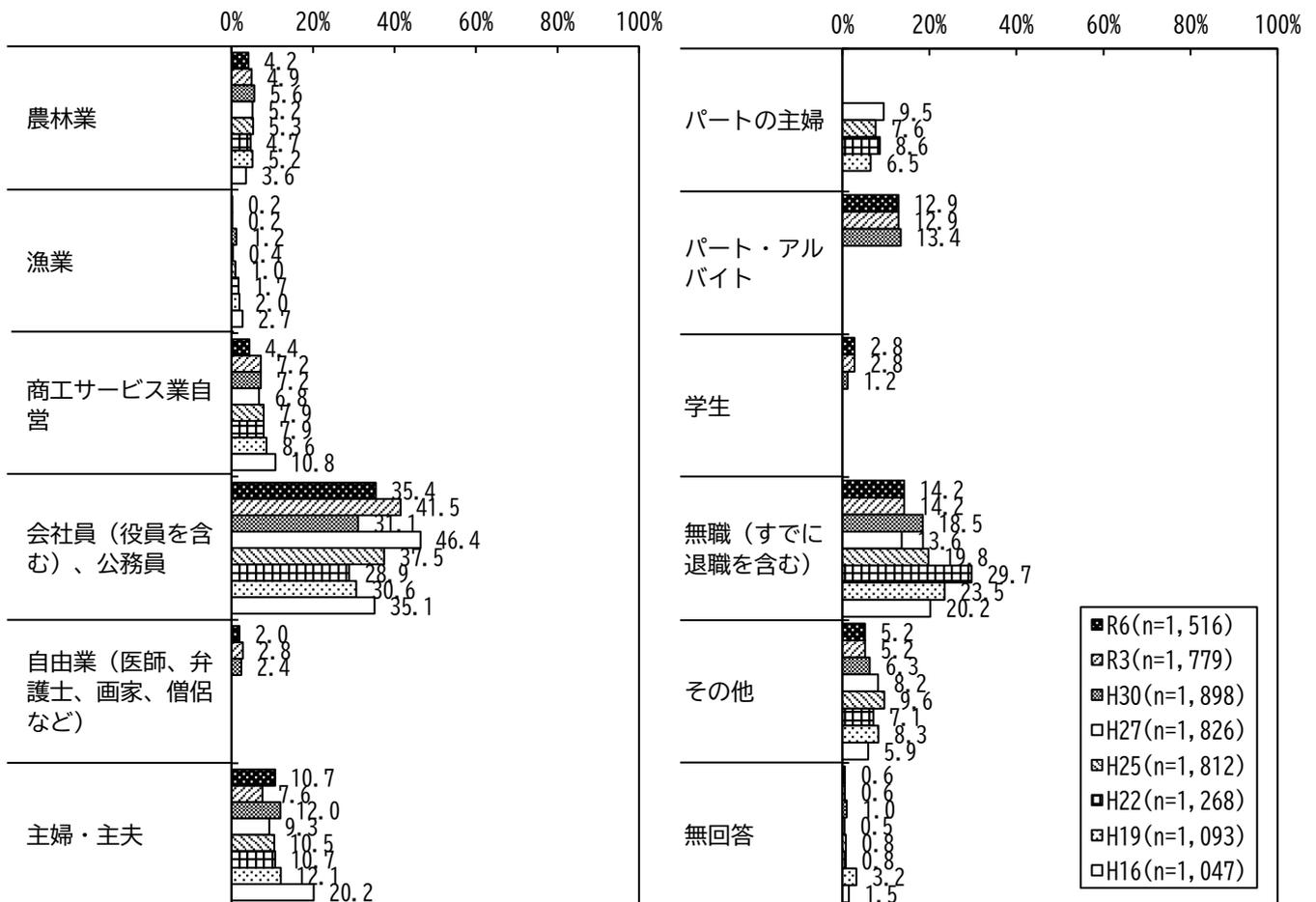
上段：人数
下段：%

	農林業	漁業	商工サービス業自営※ ₁	会社員（役員を含む）、公務員※ ₂	自由業（医師、弁護士、画家、僧侶など）	主婦・主夫※ ₃	パートの主婦	パート・アルバイト	学生	無職（すでに退職を含む）	その他	無回答	合計
R6	63 4.2	3 0.2	66 4.4	53.7 35.4	30 2.0	162 10.7	- -	189 12.5	21 1.4	332 21.9	94 6.2	19 1.2	1,516 100.0
R3	88 4.9	4 0.2	128 7.2	739 41.5	50 2.8	136 7.6	- -	229 12.9	49 2.8	253 14.2	92 5.2	11 0.6	1,779 100.0
H30	107 5.6	22 1.2	137 7.2	591 31.1	46 2.4	227 12.0	- -	255 13.4	22 1.2	352 18.5	120 6.3	19 1.0	1,898 100.0
H27	95 5.2	7 0.4	125 6.8	847 46.4	- -	169 9.3	174 9.5	- -	- -	249 13.6	150 8.2	10 0.5	1,826 100.0
H25	96 5.3	19 1.0	143 7.9	679 37.5	- -	190 10.5	138 7.6	- -	- -	358 19.8	174 9.6	15 0.8	1,812 100.0
H22	60 4.7	22 1.7	100 7.9	366 28.9	- -	136 10.7	109 8.6	- -	- -	377 29.7	90 7.1	10 0.8	1,268 100.0
H19	57 5.2	22 2.0	94 8.6	334 30.6	- -	132 12.1	71 6.5	- -	- -	257 23.5	91 8.3	35 3.2	1,093 100.0
H16	38 3.6	28 2.7	113 10.8	368 35.1	- -	211 20.2	- -	- -	- -	211 20.2	62 5.9	16 1.5	1,047 100.0

※1 平成27年度以前は「商工自営業」と答えた人数

※2 平成27年度以前は「勤め人（会社員・公務員）」と答えた人数

※3 平成16年度は「主婦」、平成19年度～平成27年度は「専業主婦」と答えた人数

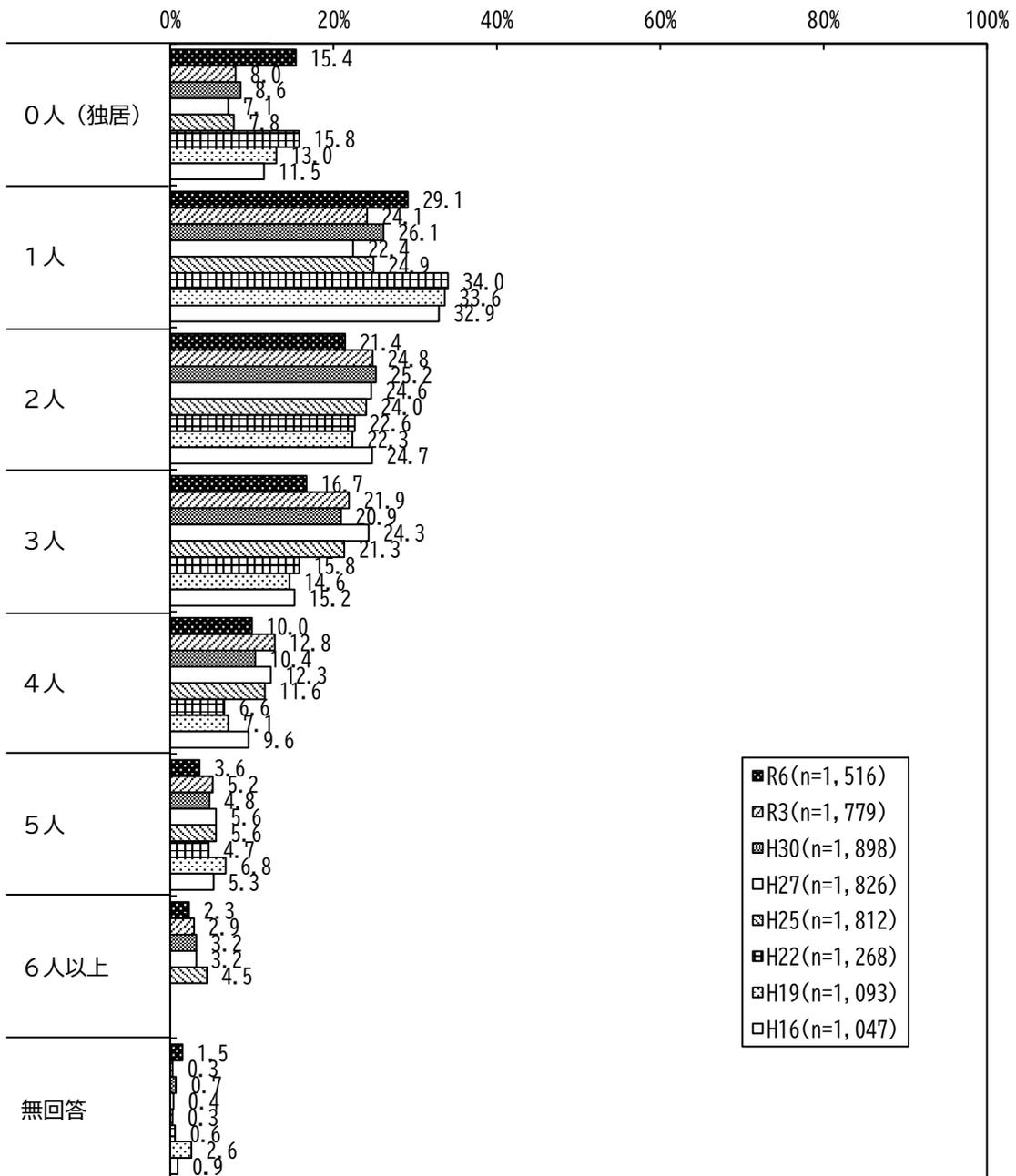


問1 ④同居しているご家族は何人いますか

上段：人数
下段：%

	0人 (独居)	1人	2人	3人	4人	5人 ※1	6人以上	無回答	合計
R6	233 15.4	441 29.1	324 21.4	253 16.7	152 10.0	55 3.6	35 2.3	23 1.5	1,516 100.0
R3	143 8.0	428 24.1	441 24.8	390 21.9	227 12.8	92 5.2	52 2.9	6 0.3	1,779 100.0
H30	164 8.6	495 26.1	478 25.2	397 20.9	198 10.4	91 4.8	61 3.2	14 0.7	1,898 100.0
H27	129 7.1	409 22.4	450 24.6	444 24.3	224 12.3	103 5.6	59 3.2	8 0.4	1,826 100.0
H25	142 7.8	452 24.9	434 24.0	386 21.3	210 11.6	101 5.6	81 4.5	6 0.3	1,812 100.0
H22	200 15.8	431 34.0	287 22.6	200 15.8	84 6.6	60 4.7		8 0.6	1,268 100.0
H19	143 13.0	368 33.6	243 22.3	160 14.6	77 7.1	74 6.8		28 2.6	1,093 100.0
H16	120 11.5	344 32.9	259 24.7	159 15.2	101 9.6	55 5.3		9 0.9	1,047 100.0

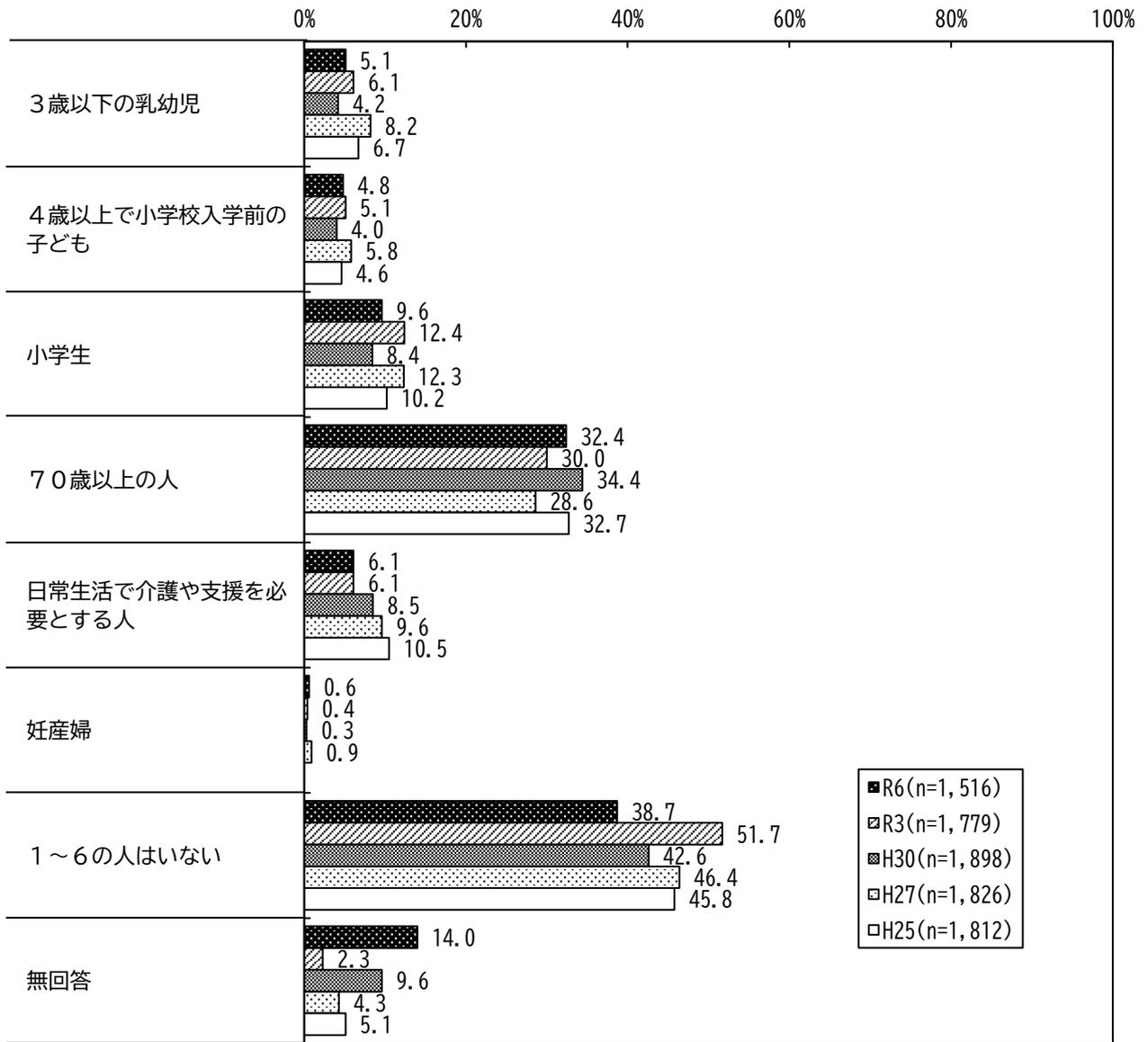
※1 平成22年度以前は「5人以上」と答えた人数



問1 ⑤同居するご家族の中に、次に該当する方はいらっしゃいますか

	上段：人数 下段：%								
	3歳以下の乳幼児	4歳以上で小学校入学前の子ども	小学生	70歳以上の人	日常生活で介護や支援を必要とする人	妊産婦	1～6の人はいない	無回答	合計
R6	78 5.1	73 4.8	146 9.6	491 32.4	93 6.1	9 0.6	587 38.7	212 14.0	1,516
R3	108 6.1	90 5.1	221 12.4	533 30.0	108 6.1	8 0.4	920 51.7	41 2.3	1,779
H30	79 4.2	75 4.0	160 8.4	653 34.4	162 8.5	5 0.3	808 42.6	183 9.6	1,898
H27	149 8.2	105 5.8	224 12.3	522 28.6	176 9.6	16 0.9	848 46.4	79 4.3	1,826
H25	122 6.7	84 4.6	185 10.2	592 32.7	191 10.5	- -	830 45.8	93 5.1	1,812

※1 平成27年度以前は「3歳以下の幼児」と答えた人数

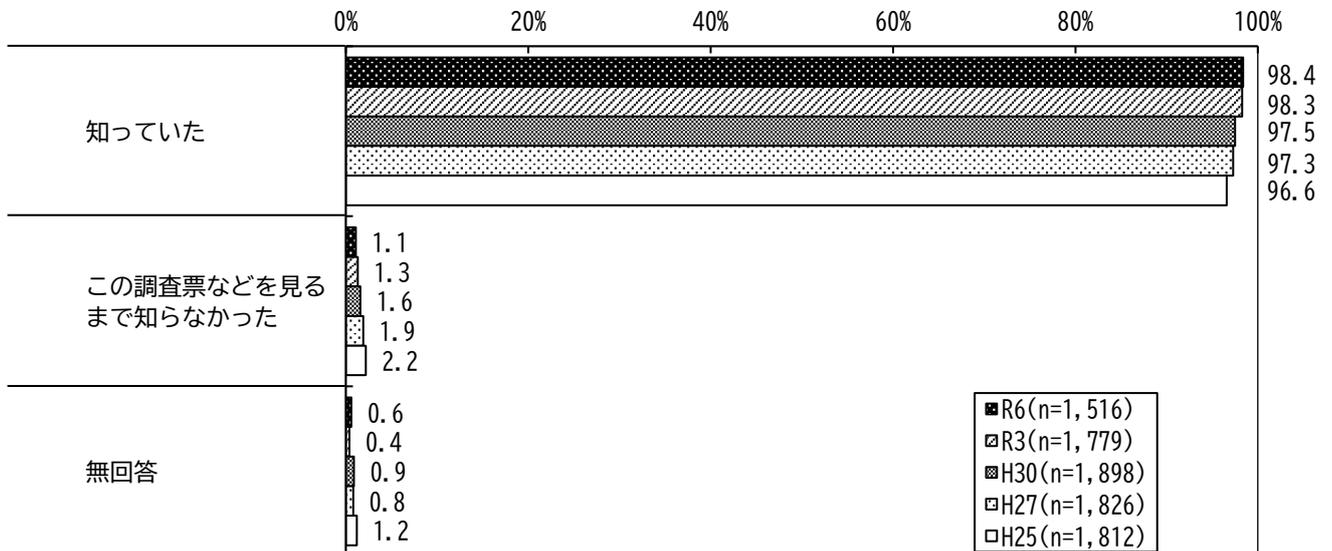


問2 南海トラフ地震について既にご存知でしたか。(ひとつだけ○)

「知っていた」は、平成25年度と比較すると1.8%増加している。

平成25年度以降の調査結果の推移をみると、南海トラフ地震の認知度は向上し続けており、県民に浸透していることが伺える。

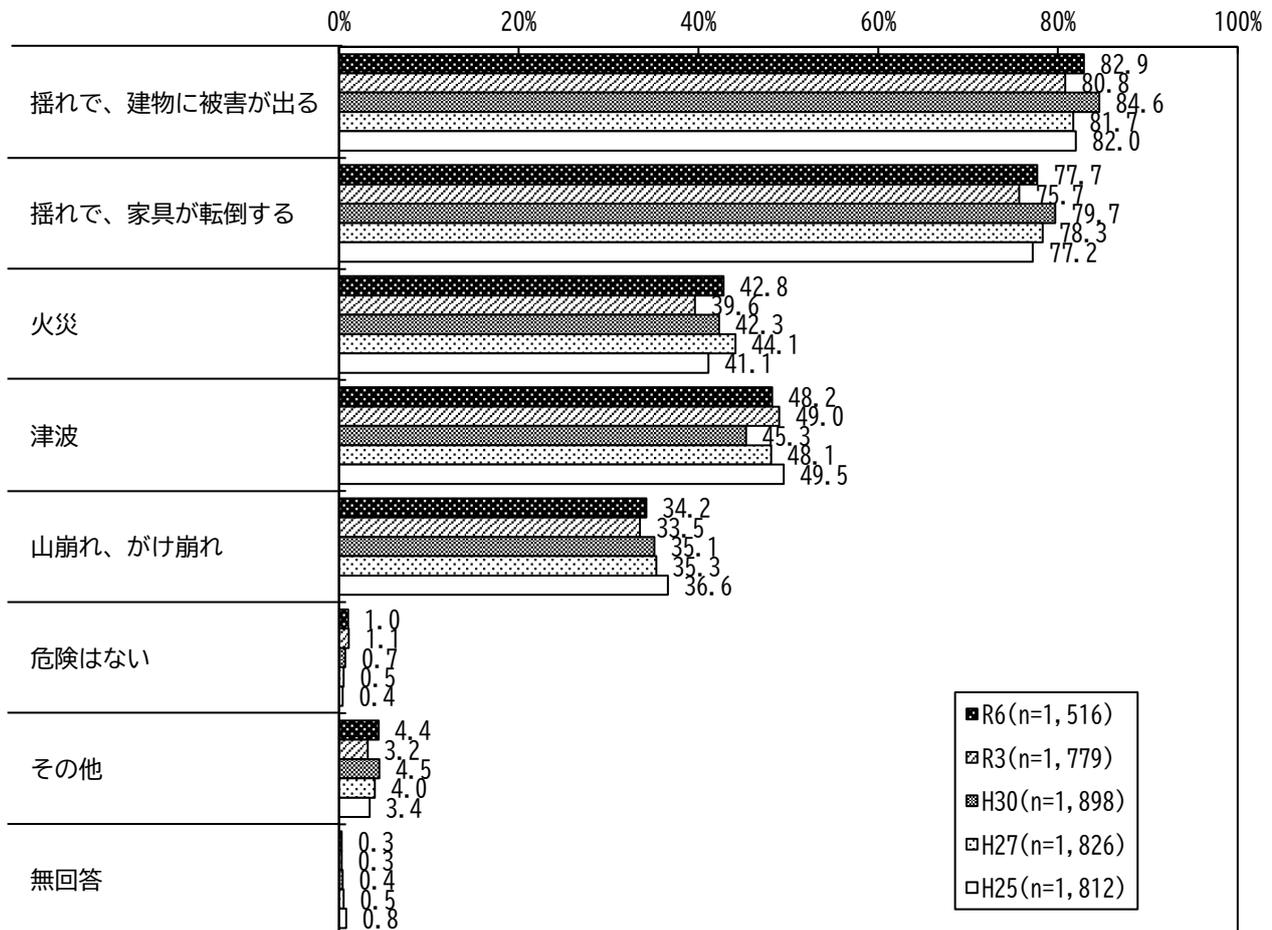
	知っていた	この調査票などを見るまで知らなかった	無回答	合計
R6	1,491 98.4	16 1.1	9 0.6	1,516 100.0
R3	1,748 98.3	23 1.3	8 0.4	1,779 100.0
H30	1,851 97.5	30 1.6	17 0.9	1,898 100.0
H27	1,776 97.3	35 1.9	15 0.8	1,826 100.0
H25	1,751 96.6	40 2.2	21 1.2	1,812 100.0



問3 南海トラフ地震が起きた場合、あなたのお宅やお住まいの地域ではどのような危険があると感じていますか。(当てはまるものすべてに○)

「揺れで、建物に被害が出る」は平成25年度から、増減を繰り返しながら、8割台を推移している。

	揺れで、建物に被害が出る		揺れで、家具が転倒する		火災	津波	山崩れ、がけ崩れ	危険はない	その他	無回答	合計
	人数	%	人数	%	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数
R6	1,257	82.9	1,178	77.7	649	730	518	15	67	5	1,516
R3	1,437	80.8	1,347	75.7	704	871	596	20	57	6	1,779
H30	1,605	84.6	1,512	79.7	803	859	667	14	86	7	1,898
H27	1,491	81.7	1,430	78.3	805	879	645	10	73	9	1,826
H25	1,486	82.0	1,399	77.2	744	897	663	8	62	15	1,812



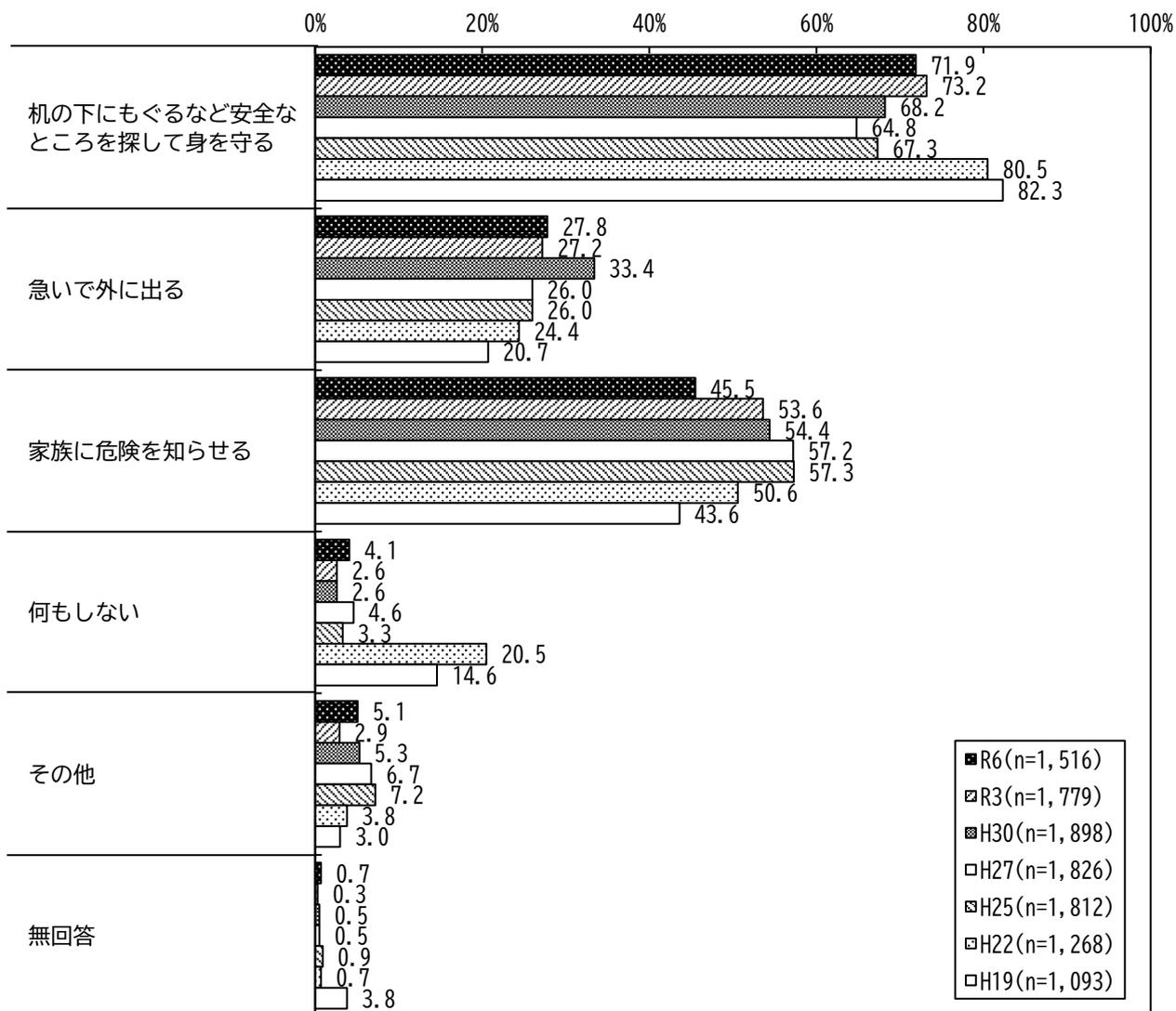
問4 もし、あなたが自宅において「地震が発生しました。強い揺れに備えてください」という緊急地震速報をテレビなどで知ったときどうしますか。(当てはまるものすべてに○)

各年度とも「机の下にもぐるなど安全なところを探して身を守る」が最も高く、次いで「家族に危険を知らせる」、「急いで外に出る」と続いている。

平成27年度以降「机の下にもぐるなど安全なところを探して身を守る」が7割台に増加してきている。これは、まず自身の安全を第一に確保とするという意識がより定着してきた結果と考えられる。

上段：人数
下段：%

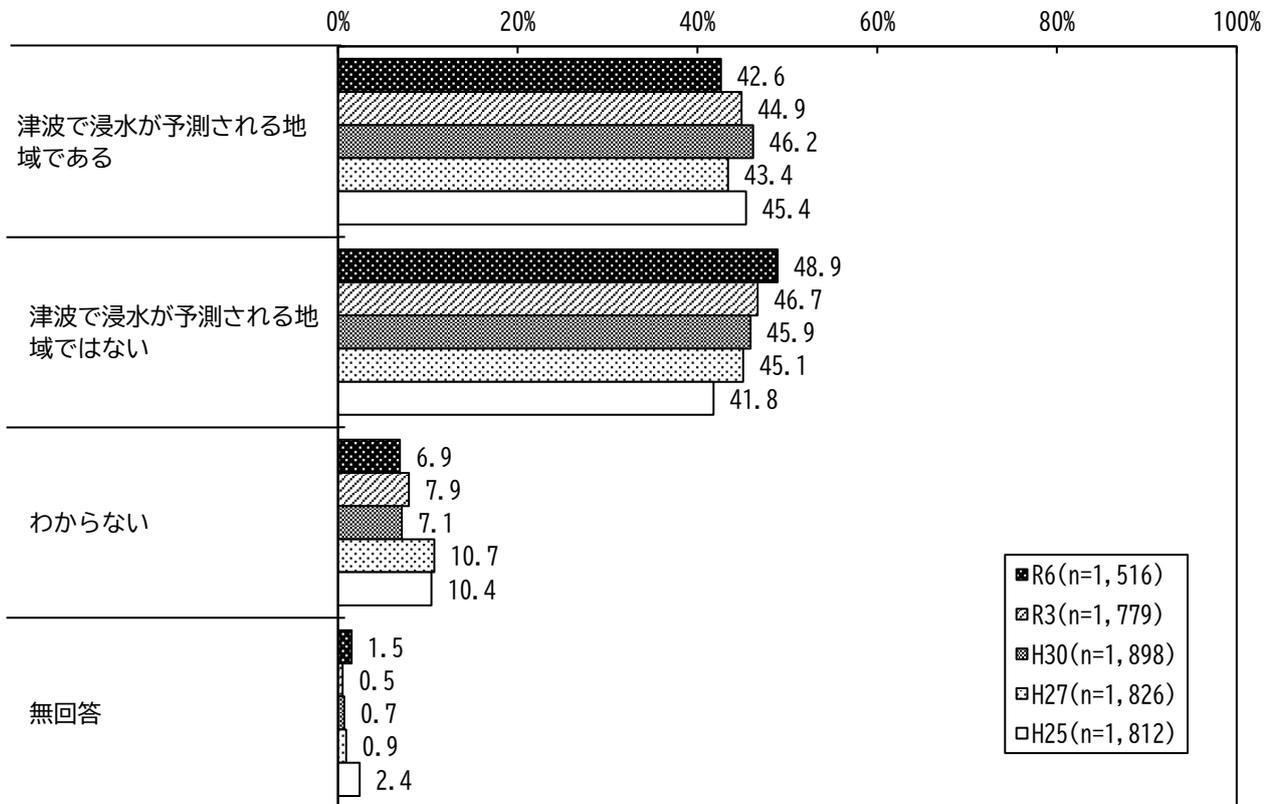
	机の下にもぐるなど安全なところを探して身を守る	急いで外に出る	家族に危険を知らせる	何もしない	その他	無回答	合計
R6	1,090 71.9	422 27.8	690 45.5	62 4.1	78 5.1	11 0.7	1,516
R3	1,303 73.2	484 27.2	954 53.6	46 2.6	52 2.9	6 0.3	1,779
H30	1,295 68.2	634 33.4	1,032 54.4	49 2.6	100 5.3	9 0.5	1,898
H27	1,183 64.8	475 26.0	1,044 57.2	84 4.6	122 6.7	10 0.5	1,826
H25	1,220 67.3	471 26.0	1,038 57.3	60 3.3	130 7.2	17 0.9	1,812
H22	1,021 80.5	309 24.4	642 50.6	260 20.5	48 3.8	9 0.7	1,268
H19	900 82.3	226 20.7	477 43.6	160 14.6	33 3.0	42 3.8	1,093



問8 あなたのお宅は津波で浸水が予測される地域ですか。(ひとつだけ○)

それぞれの年度で大きな変化はない。

	上段：人数 下段：%				合計
	津波で浸水が予測される地域である	津波で浸水が予測される地域ではない	わからない	無回答	
R6	646 42.6	742 48.9	105 6.9	23 1.5	1,516 100.0
R3	799 44.9	831 46.7	140 7.9	9 0.5	1,779 100.0
H30	877 46.2	872 45.9	135 7.1	14 0.7	1,898 100.0
H27	792 43.4	823 45.1	195 10.7	16 0.9	1,826 100.0
H25	823 45.4	758 41.8	188 10.4	43 2.4	1,812 100.0



問9 問8で「1. 津波で浸水が予測される地域である」と回答した人におたずねします。

あなたのお宅まで津波が到達する時間や浸水する深さを知っていますか。(ひとつだけ○)

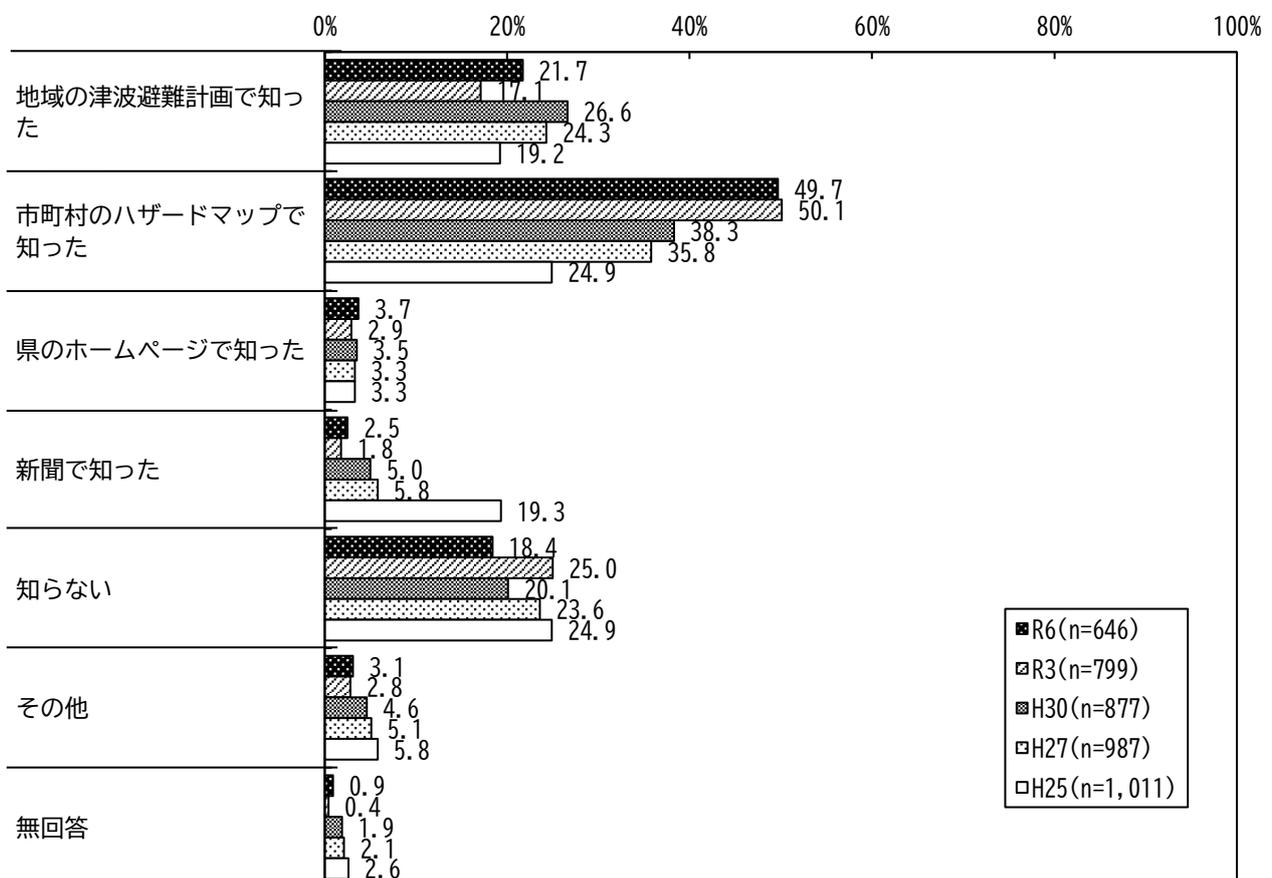
「市町村のハザードマップで知った」が年々増加しており、令和6年度は平成25年度の24.9%と比べると24.8ポイントの増加となっている。

また、「地域の津波避難計画で知った」は令和3年度の17.1%から4.6ポイント増加している。

	上段：人数 下段：%							
	地域の津波避難計画で知った	市町村のハザードマップで知った	県のホームページで知った	新聞で知った	知らない	その他	無回答	合計
R6	140 21.7	321 49.7	24 3.7	16 2.5	119 18.4	21 3.1	6 0.9	646 100.0
R3	137 17.1	400 50.1	23 2.9	14 1.8	200 25.0	22 2.8	3 0.4	799 100.0
H30※1	233 26.6	336 38.3	31 3.5	44 5.0	176 20.1	40 4.6	17 1.9	877 100.0
H27※2	240 24.3	353 35.8	33 3.3	57 5.8	233 23.6	50 5.1	21 2.1	987 100.0
H25※2	194 19.2	252 24.9	33 3.3	195 19.3	252 24.9	59 5.8	26 2.6	1,011 100.0

※1 「津波で浸水が予測される地域である」と答えた人数

※2 「津波で浸水が予測される地域である」・「わからない」と答えた人数



問11 あなたがご自宅にいるときに、今まで経験したことがないような大きな揺れに襲われ、その揺れが1分以上続いたとします。あなたはいつ避難しますか。(ひとつだけ○)

平成25年度以降、「揺れがおさまった後、すぐに」が最も高くなっており、津波に対する避難活動の開始を迅速に行い、身の安全を守るという意識が定着してきた結果と考えられる。

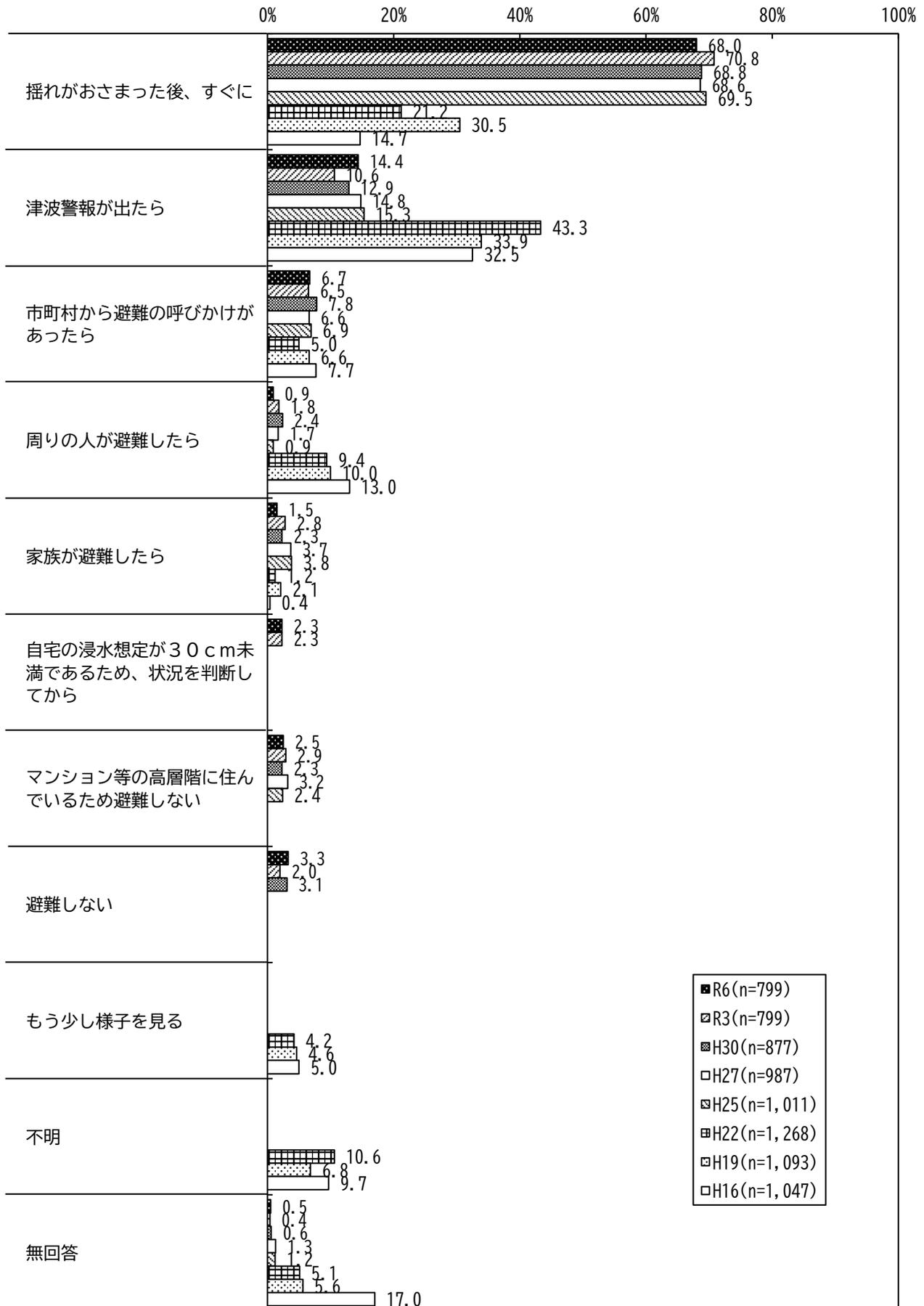
上段：人数
下段：%

	揺れがおさまった後、すぐに	津波警報が出たら	市町村から避難の呼びかけがあったら	周りの人が避難したら※1	家族が避難したら	自宅の浸水想定が30cm未満であるため、状況を判断してから	マンション等の高層階に住んでいるため避難しない	避難しない	もう少し様子を見る	不明	無回答	合計
R6	439 68.0	93 14.4	43 6.7	6 0.9	10 1.5	15 2.3	16 2.5	21 3.3	- -	- -	3 0.5	646 100.0
R3	566 70.8	85 10.6	52 6.5	14 1.8	22 2.8	18 2.3	23 2.9	16 2.0	- -	- -	3 0.4	799 100.0
H30※2	603 68.8	113 12.9	68 7.8	21 2.4	20 2.3	- -	20 2.3	27 3.1	- -	- -	5 0.6	877 100.0
H27※3	677 68.6	146 14.8	65 6.6	17 1.7	37 3.7	- -	32 3.2	- -	- -	- -	13 1.3	987 100.0
H25※3	703 69.5	155 15.3	70 6.9	9 0.9	38 3.8	- -	24 2.4	- -	- -	- -	12 1.2	1,011 100.0
H22	269 21.2	549 43.3	63 5.0	119 9.4	15 1.2	- -	- -	- -	53 4.2	134 10.6	65 5.1	1,268 100.0
H19	333 30.5	371 33.9	72 6.6	109 10.0	23 2.1	- -	- -	- -	50 4.6	74 6.8	61 5.6	1,093 100.0
H16	154 14.7	340 32.5	81 7.7	136 13.0	4 0.4	- -	- -	- -	52 5.0	102 9.7	178 17.0	1,047 100.0

※1 平成27年度以前は「近所の人を避難したら」と答えた人数

※2 「津波で浸水が予測される地域である」と答えた人数

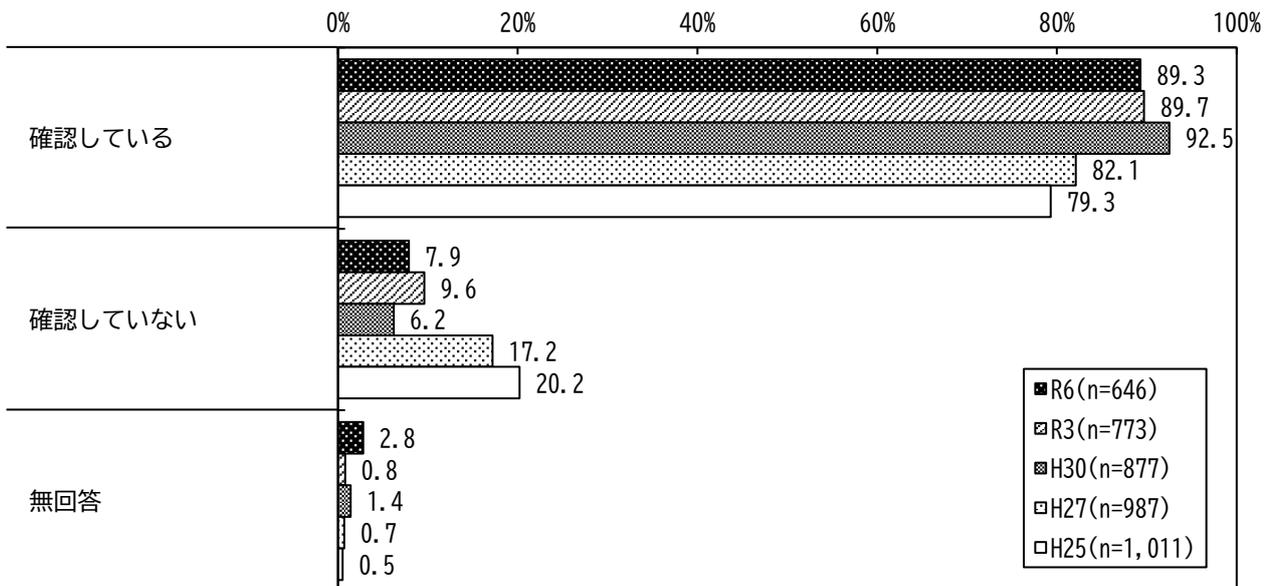
※3 「津波で浸水が予測される地域である」・「わからない」と答えた人数



問13 津波からの避難場所を確認していますか。(ひとつだけ○)

「確認している」は、平成25年度から8割台を推移しており、最も高くなっているが、平成30年度の92.5%をピークにやや減少傾向にあるため、避難に関する意識がやや低下していると考えられる。

	上段：人数			合計
	確認している	確認していない	無回答	
R6	577 89.3	51 7.9	18 2.8	646 100.0
R3	693 89.7	74 9.6	6 0.8	773 100.0
H30	811 92.5	54 6.2	12 1.4	877 100.0
H27	810 82.1	170 17.2	7 0.7	987 100.0
H25	802 79.3	204 20.2	5 0.5	1,011 100.0



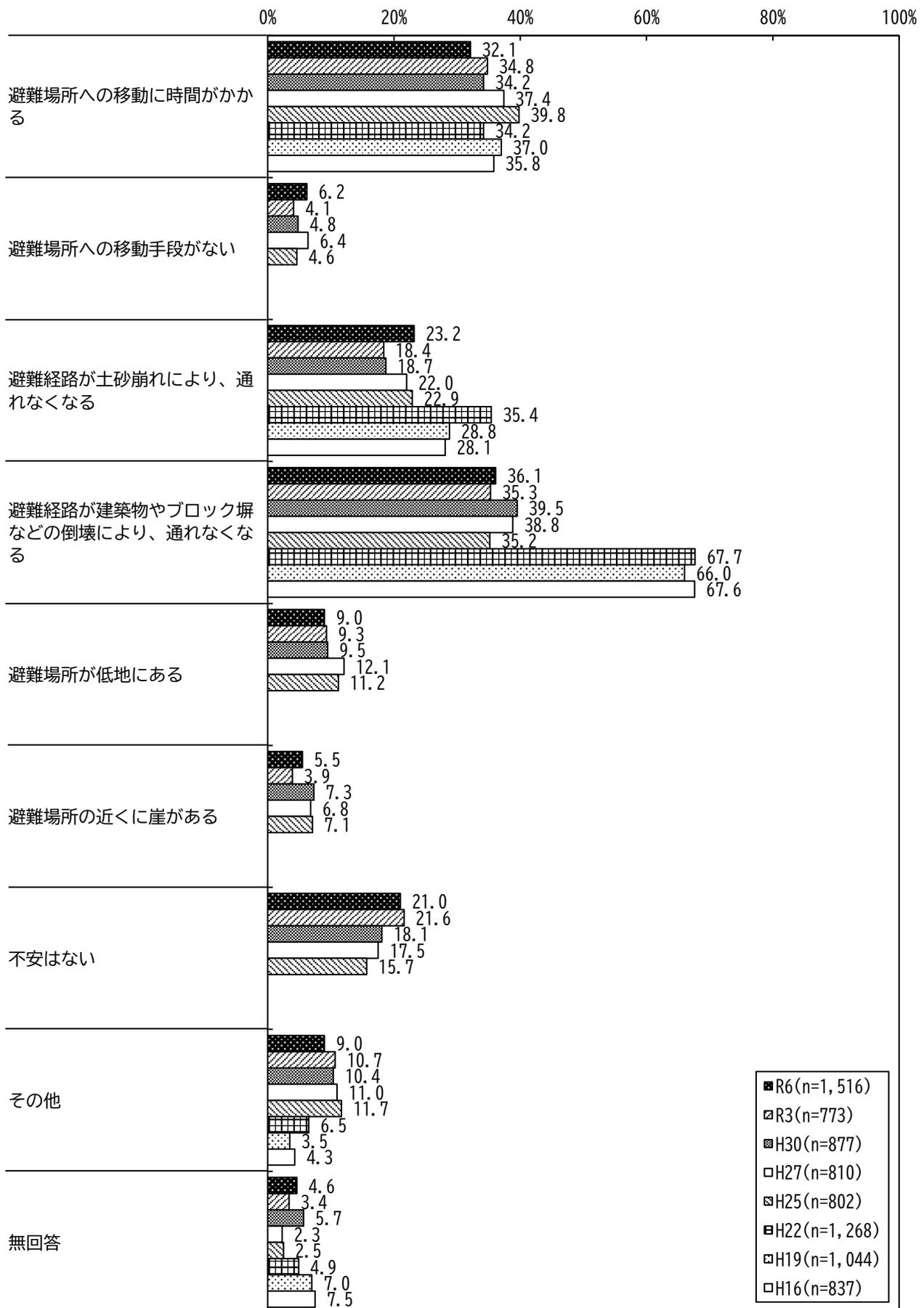
問15 避難場所や避難経路に対して、どのような不安がありますか。(当てはまるものすべてに○)

「不安はない」は、平成25年以降割合が高くなってきている。また、「避難経路が土砂崩れにより、通れなくなる」は、令和3年度より4.8ポイント増加している。

上段：人数
下段：%

	避難場所への移動に時間がかかる	避難場所への移動手段がない	避難経路が土砂崩れにより、通れなくなる	避難経路が建築物やブロック塀などの倒壊により、通れなくなる	避難場所が低地にある	避難場所の近くに崖がある	不安はない	その他	無回答	合計
R6	487 32.1	64 6.2	351 23.2	547 36.1	137 9.0	83 5.5	319 21.0	137 9.0	69 4.6	1,516
R3	269 34.8	32 4.1	142 18.4	273 35.3	72 9.3	30 3.9	167 21.6	83 10.7	26 3.4	773
H30 ^{※1}	300 34.2	42 4.8	164 18.7	346 39.5	83 9.5	64 7.3	159 18.1	91 10.4	50 5.7	877
H27 ^{※1}	303 37.4	52 6.4	178 22.0	314 38.8	98 12.1	55 6.8	142 17.5	89 11.0	19 2.3	810
H25 ^{※1}	319 39.8	37 4.6	184 22.9	282 35.2	90 11.2	57 7.1	126 15.7	94 11.7	20 2.5	802
H22	434 34.2	- -	449 35.4	858 67.7	- -	- -	- -	82 6.5	62 4.9	1,268
H19	386 37.0	- -	301 28.8	689 66.0	- -	- -	- -	37 3.5	73 7.0	1,044
H16	300 35.8	- -	235 28.1	566 67.6	- -	- -	- -	36 4.3	63 7.5	837

※1 「津波からの避難場所を確認している」と答えた人数



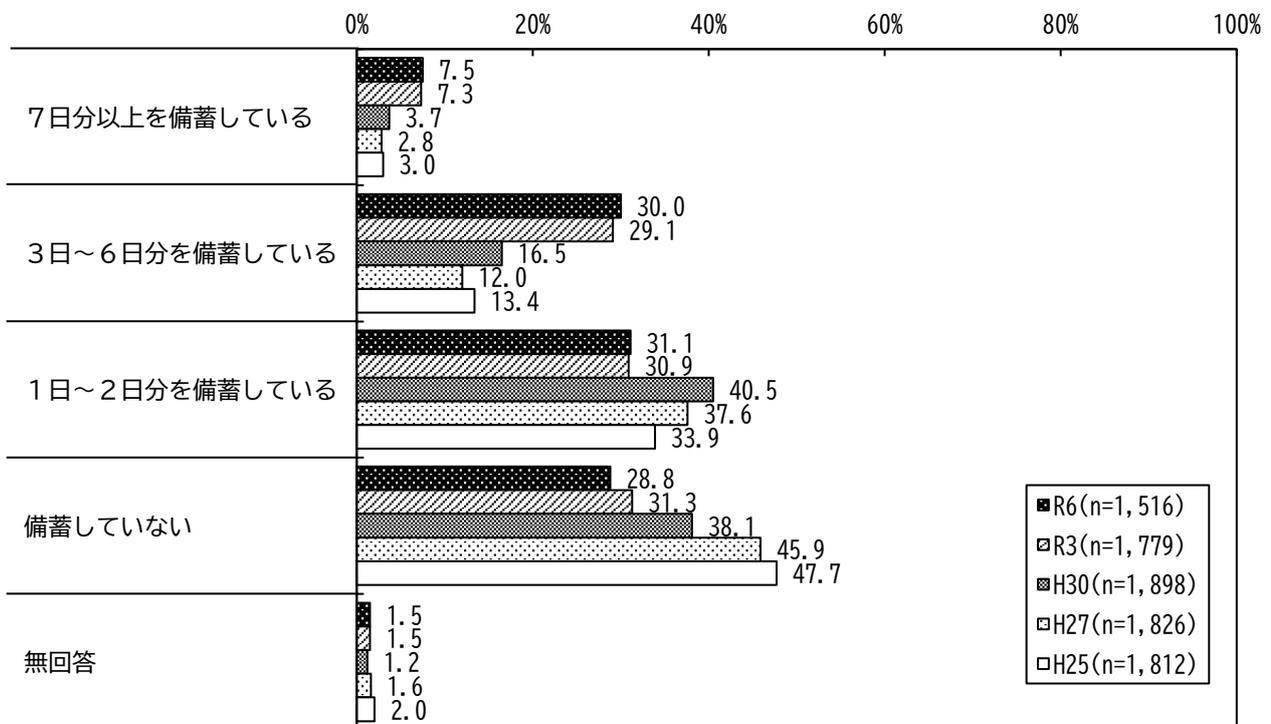
問17 大規模災害が発生した時は、県外からの応援が届くまでに時間がかかるため、各ご家庭でも飲料水・食料の備蓄をすることが重要です。あなたのご自宅では、日常的に消費するものとは別に、災害用の備えとして、長期保存の飲料水と食料の備蓄を行っていますか。(それぞれ1つだけ○)

【飲料水】

令和6年度では「7日分以上の備蓄をしている」の割合が、平成27年度の2.8%より4.7ポイント増加している。

	上段：人数 下段：%					合計
	7日分以上を備蓄している	3日～6日分を備蓄している	1日～2日分を備蓄している※	備蓄していない	無回答	
R6	113 7.5	455 30.0	471 31.1	437 28.8	40 2.6	1,516 100.0
R3	129 7.3	518 29.1	549 30.9	557 31.3	26 1.5	1,779 100.0
H30	71 3.7	313 16.5	768 40.5	724 38.1	22 1.2	1,898 100.0
H27	52 2.8	220 12.0	686 37.6	839 45.9	29 1.6	1,826 100.0
H25	54 3.0	242 13.4	614 33.9	865 47.7	37 2.0	1,812 100.0

※R6 選択肢項目の「2日分を備蓄している」、「1日分を備蓄している」を合算



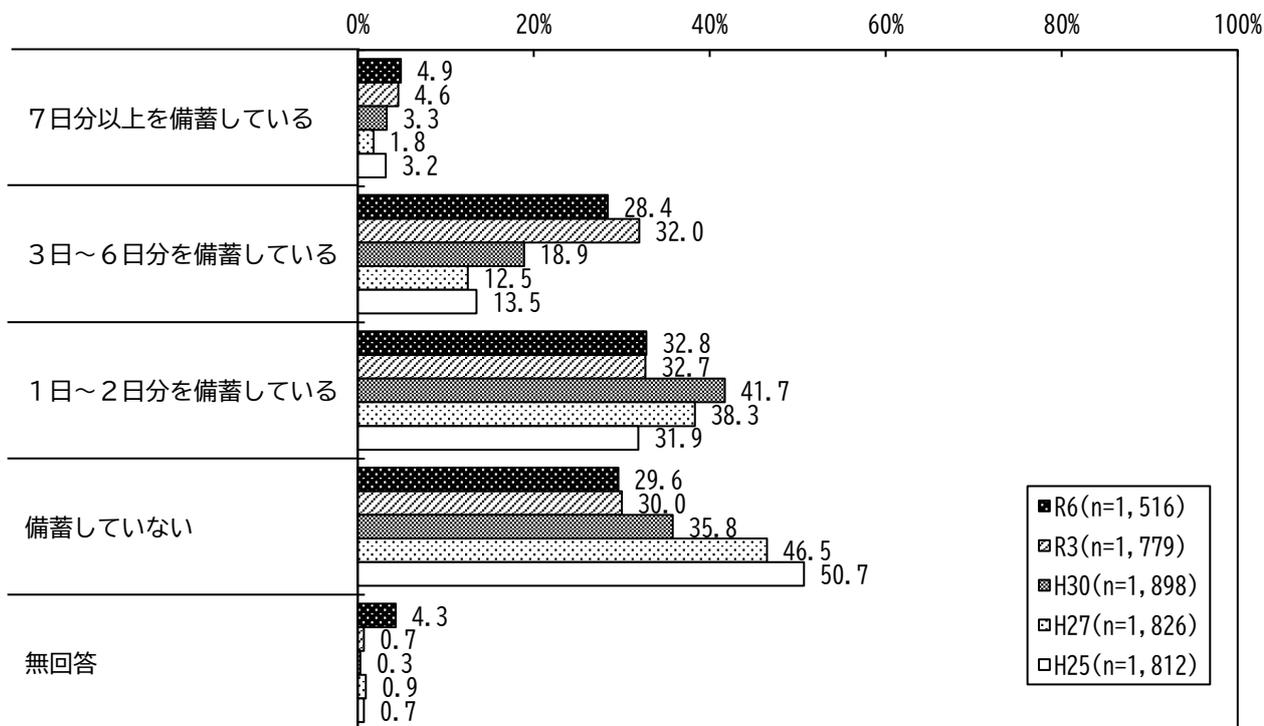
【食料】

令和6年度では「7日以上を備蓄している」の割合が平成27年度の1.8%より3.1ポイント増加している。また、飲料水と食料のいずれも平成25年度以降、「備蓄をしていない」の割合が減少し続けており、今まで備蓄をしなかった方が、行動を開始するなど意識変化が見られるものの、備蓄量を増やしていく等の取組が課題となっている。

	7日分以上を備蓄している	3日～6日分を備蓄している	1日～2日分を備蓄している※	備蓄していない	無回答	合計
R6	75 4.9	430 28.4	498 32.8	448 29.6	65 4.3	1,516 100.0
R3	82 4.6	570 32.0	582 32.7	533 30.0	12 0.7	1,779 100.0
H30	63 3.3	358 18.9	792 41.7	680 35.8	5 0.3	1,898 100.0
H27	33 1.8	228 12.5	699 38.3	849 46.5	17 0.9	1,826 100.0
H25	58 3.2	245 13.5	578 31.9	918 50.7	13 0.7	1,812 100.0

上段：人数
下段：%

※R6 選択肢項目の「2日分を備蓄している」、「1日分を備蓄している」を合算



問19 問17で「3. 1日～2日分を備蓄している」、「4. 備蓄していない」と回答した人におたずねします。3日以上を備蓄していないのはどのような理由からですか。(ひとつだけ○)

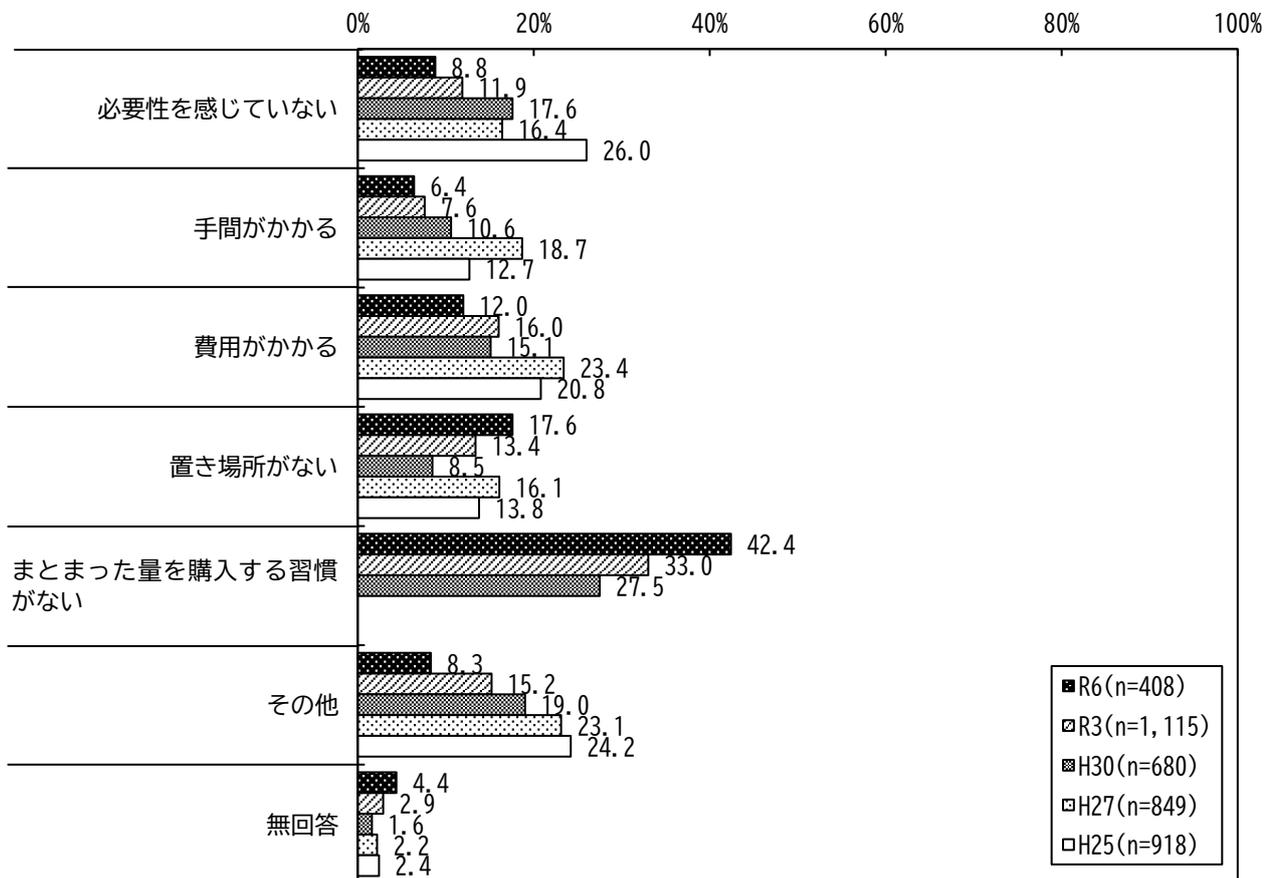
【飲料水】

令和3年度に続き「まとまった量を購入する習慣がない」が最も高くなっており、13.8ポイント増加している。

	上段：人数 下段：%							
	必要性を感じていない	手間がかかる※1	費用がかかる	置き場所がない	まとまった量を購入する習慣がない※2	その他	無回答	合計
R6	36 8.8	26 6.4	49 12.0	72 17.6	173 42.4	34 8.3	18 4.4	408 100.0
R3	110 9.9	125 11.3	123 11.1	238 21.5	296 26.8	194 17.5	20 1.8	1,106 100.0
H30	148 20.4	115 15.9	83 11.5	111 15.3	-	245 33.8	22 3.0	724 100.0
H27	149 17.8	155 18.5	138 16.4	162 19.3	-	219 26.1	16 1.9	839 100.0
H25	210 24.3	121 14.0	122 14.1	165 19.1	-	232 26.8	15 1.7	865 100.0

※1 平成30年度は「保存用の飲料水を準備するのが面倒である」と答えた人数

※2 平成30年度は「保存期間ごとに買い替えるのが面倒である」と答えた人数



【食料】

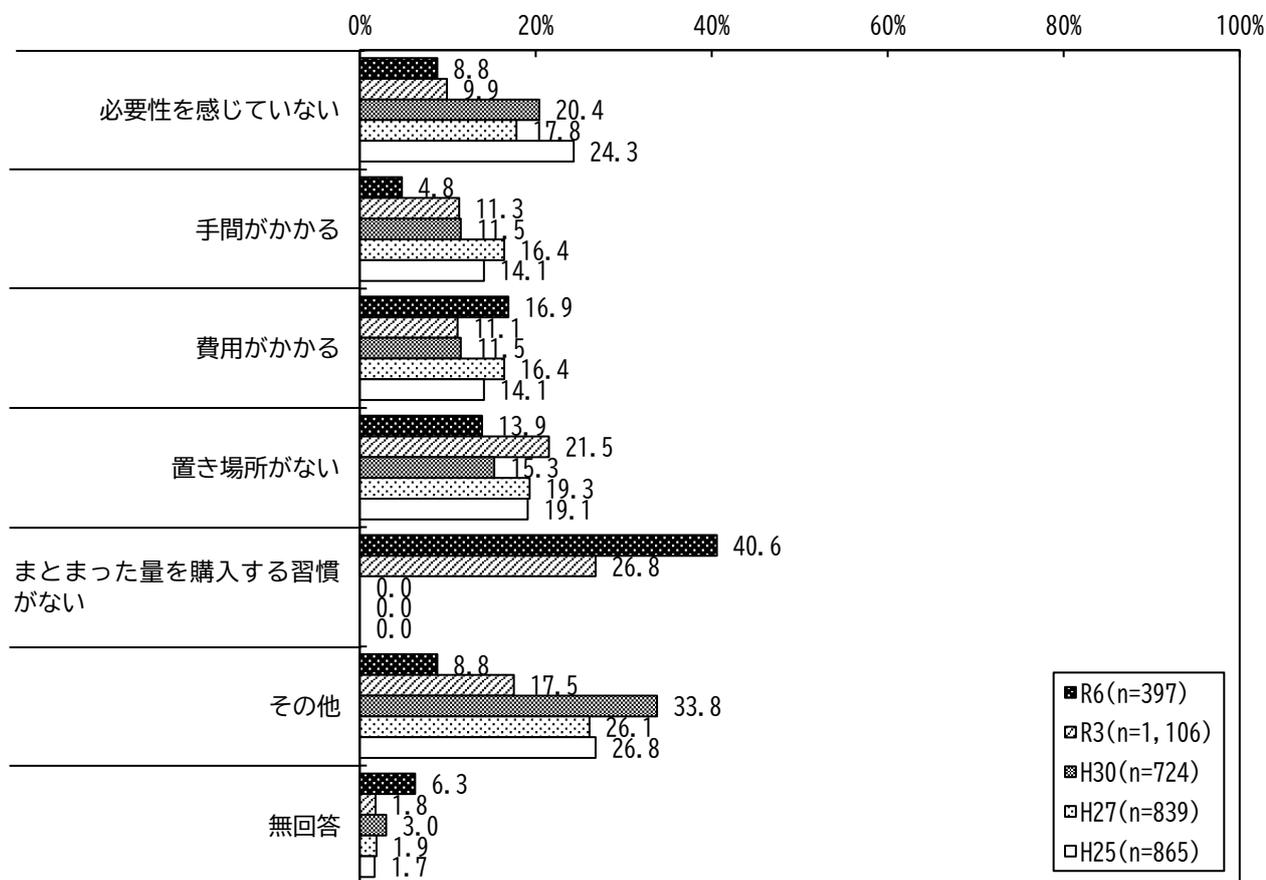
平成30年度に続き、「まとまった量を購入する習慣がない」が最も高くなっており、飲料水と食料のいずれも備えの必要性の啓発や、必要な備蓄量を明確にできるような具体的な情報提示が必要である。

	必要性を感じていない	手間がかかる※1	費用がかかる	置き場所がない	まとまった量を購入する習慣がない※2	その他	無回答	合計
R6	35 8.8	19 4.8	67 16.9	55 13.9	161 40.6	35 8.8	25 6.3	397 100.0
R3	133 11.9	85 7.6	178 16.0	149 13.4	368 33.0	170 15.2	32 2.9	1,115 100.0
H30	120 17.6	72 10.6	103 15.1	58 8.5	187 27.5	129 19.0	11 1.6	680 100.0
H27	139 16.4	159 18.7	199 23.4	137 16.1	-	196 23.1	19 2.2	849 100.0
H25	239 26.0	117 12.7	191 20.8	127 13.8	-	222 24.2	22 2.4	918 100.0

上段：人数
下段：%

※1 平成30年度は「アルファ米や乾パンなどの保存食を準備するのが面倒である」と答えた人数

※2 平成30年度は「保存期間ごとに買い替えるのが面倒である」と答えた人数

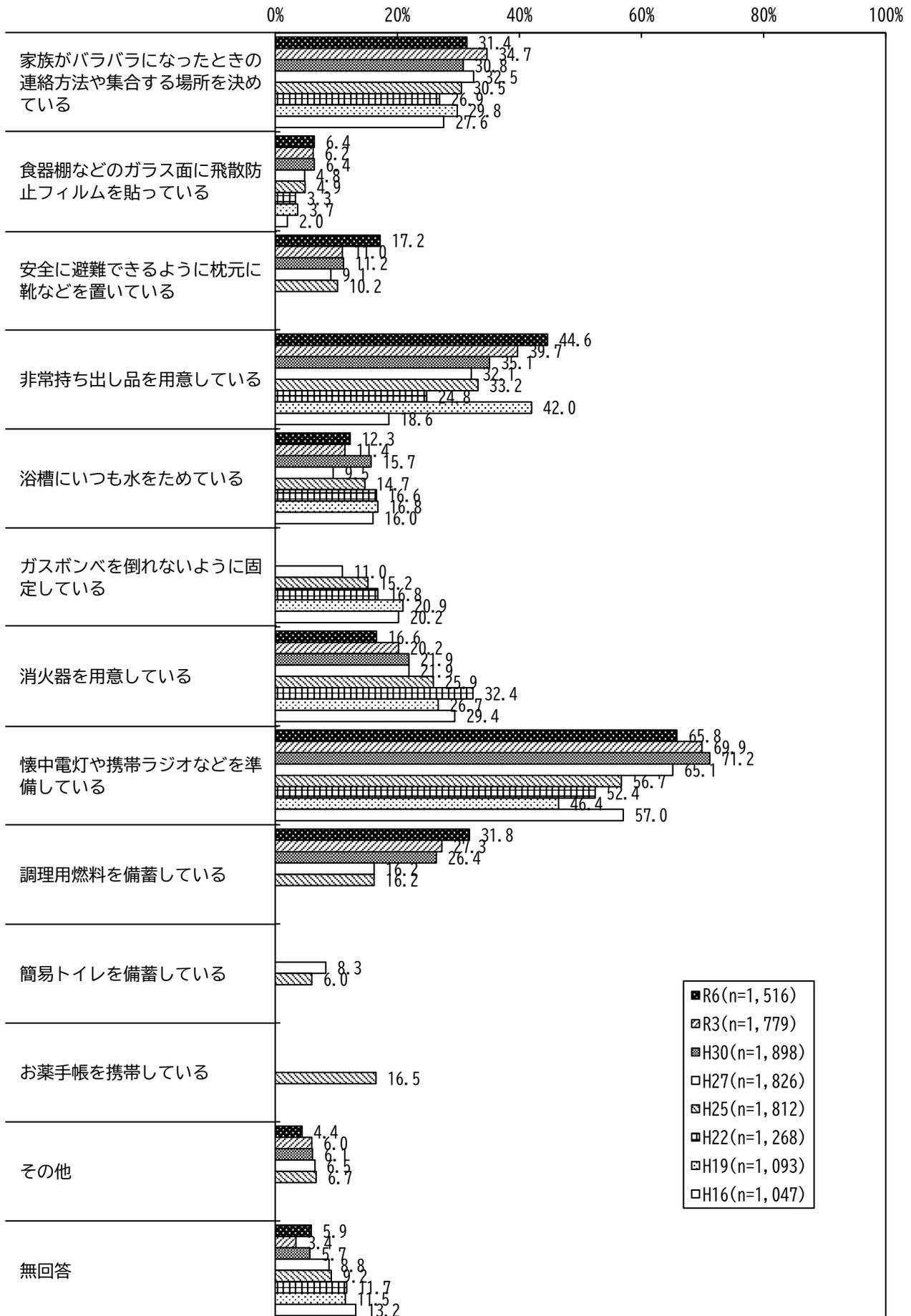


問22 あなたのお宅では南海トラフ地震などへの備えとして、どのようなことを行っていますか。
 (当てはまるものすべてに○)

各年度とも「懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している」が最も高くなっている。

上段：人数
 下段：%

	家族がバラバラになったときの連絡方法や集合する場所を決めている	食器棚などのガラス面に飛散防止フィルムを貼っている	安全に避難できるように枕元に靴などを置いている	非常持ち出し品を用意している	浴槽にいつも水をためている	ガスボンベを倒れないように固定している	消火器を用意している	懐中電灯や携帯ラジオなどを準備している	調理用燃料を備蓄している	簡易トイレを備蓄している	お薬手帳を携帯している	その他	無回答	合計
R6	476 31.4	97 6.4	261 17.2	676 44.6	187 12.3	- -	252 16.6	997 65.8	482 31.8	- -	- -	67 4.4	90 5.9	1,516
R3	618 34.7	111 6.2	196 11.0	706 39.7	202 11.4	- -	359 20.2	1,243 69.9	486 27.3	- -	- -	107 6.0	60 3.4	1,779
H30	585 30.8	121 6.4	212 11.2	667 35.1	298 15.7	- -	415 21.9	1,352 71.2	501 26.4	- -	- -	115 6.1	109 5.7	1,898
H27	594 32.5	87 4.8	166 9.1	587 32.1	173 9.5	200 11.0	399 21.9	1,189 65.1	296 16.2	151 8.3	- -	119 6.5	161 8.8	1,826
H25	552 30.5	88 4.9	185 10.2	601 33.2	266 14.7	276 15.2	469 25.9	1,028 56.7	294 16.2	109 6.0	299 16.5	122 6.7	167 9.2	1,812
H22	341 26.9	42 3.3	- -	314 24.8	210 16.6	213 16.8	411 32.4	664 52.4	- -	- -	- -	- -	148 11.7	1,268
H19	326 29.8	40 3.7	- -	459 42.0	184 16.8	228 20.9	292 26.7	507 46.4	- -	- -	- -	- -	126 11.5	1,093
H16	289 27.6	21 2.0	- -	195 18.6	168 16.0	211 20.2	308 29.4	597 57.0	- -	- -	- -	- -	138 13.2	1,047

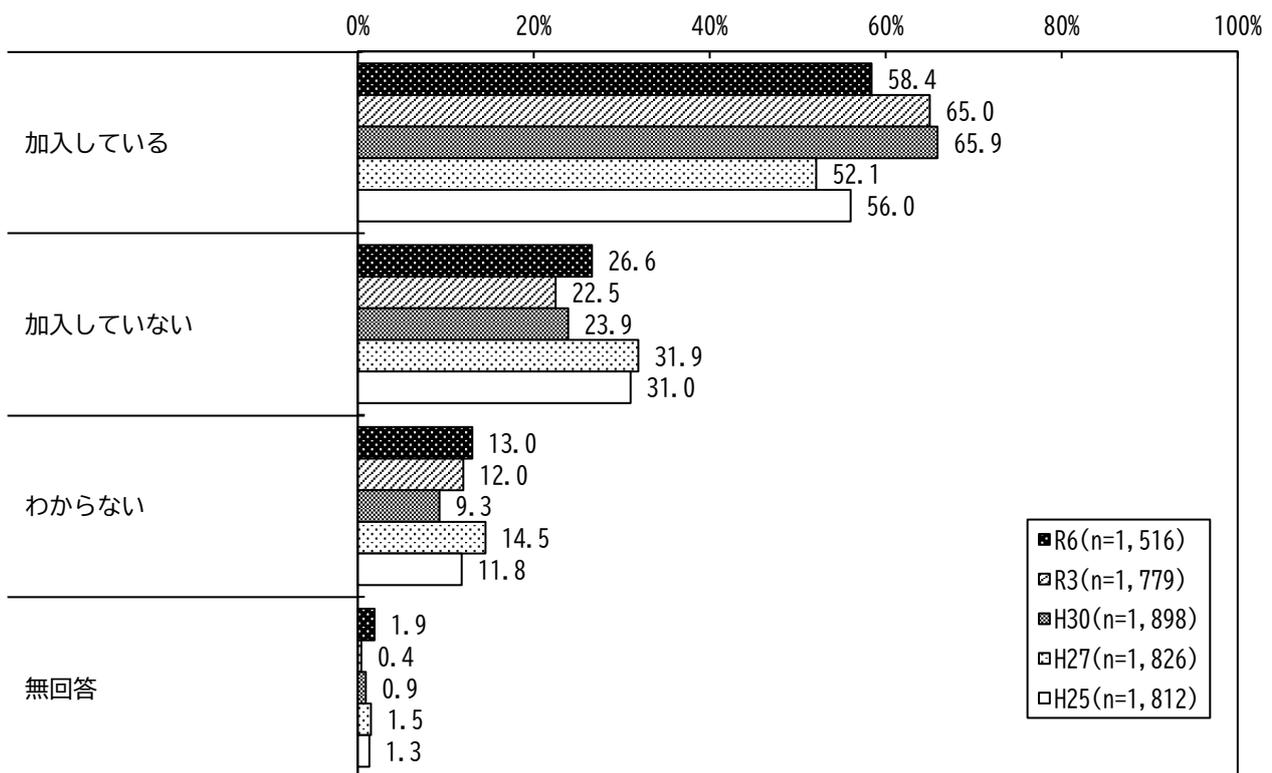


問24 あなたのお宅は地震に備えるための保険や共済などに加入していますか。(ひとつだけ○)

「加入していない」が平成25年以降割合が減少していたが、令和6年度に4.1ポイント増加している。

上段：人数
下段：%

	加入している	加入していない	わからない	無回答	合計
R6	886 58.4	404 26.6	197 13.0	29 1.9	1,516 100.0
R3	1,156 65.0	401 22.5	214 12.0	8 0.4	1,779 100.0
H30	1,250 65.9	454 23.9	176 9.3	18 0.9	1,898 100.0
H27	952 52.1	582 31.9	264 14.5	28 1.5	1,826 100.0
H25	1,014 56.0	561 31.0	214 11.8	23 1.3	1,812 100.0



問26 あなたのお宅では家具や家電などの固定をしていますか。(ひとつだけ○)

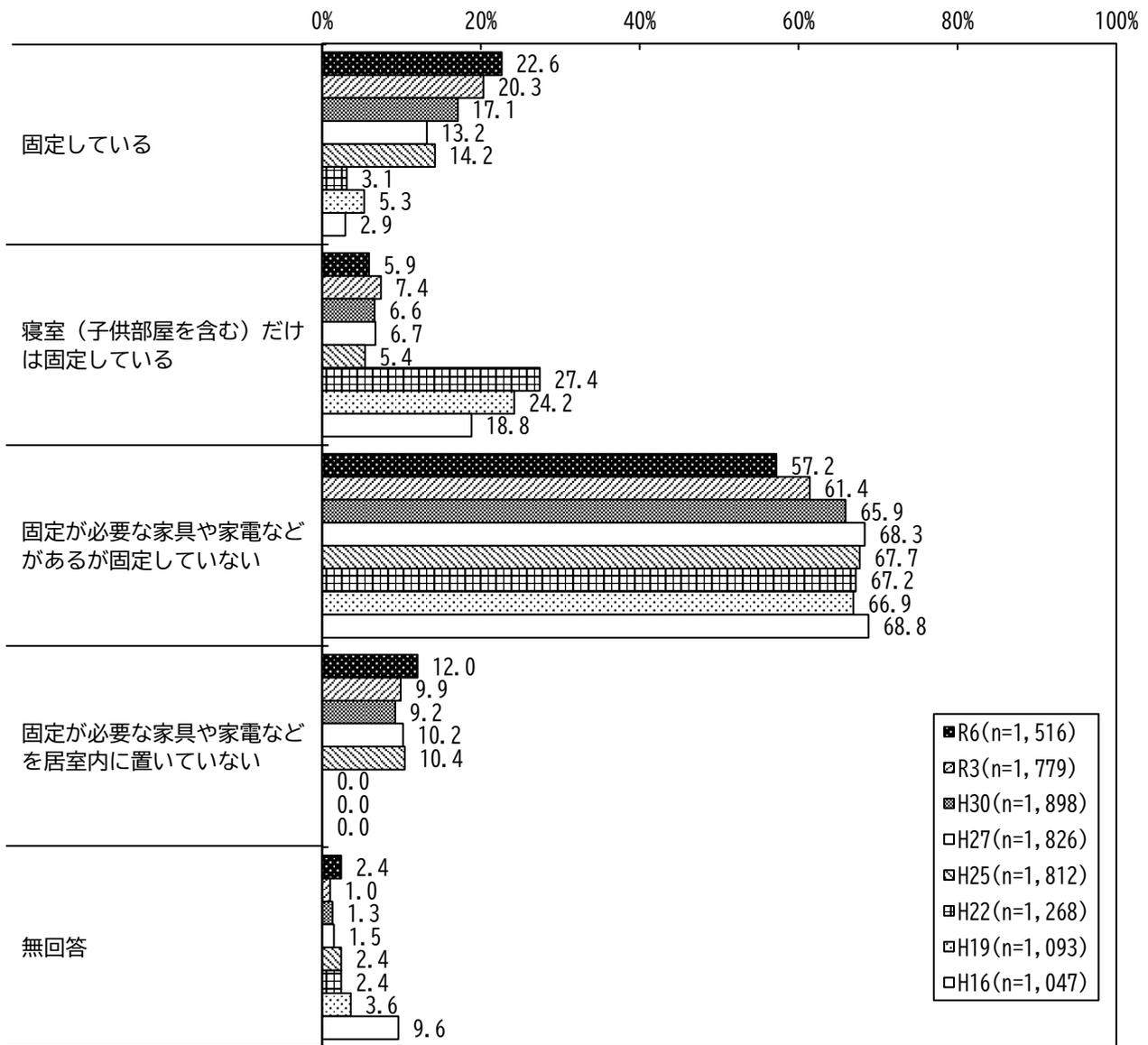
「固定している」は、平成27年度以降高くなってきているが割合はまだ低く、各年度とも「固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」が5割以上と最も高いため、さらなる啓発が必要である。

上段：人数
下段：%

	固定している	寝室(子供部屋を含む)だけは固定している※ ₁	固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない※ ₂	固定が必要な家具や家電などを居室内に置いていない	無回答	合計
R6	342 22.6	89 5.9	867 57.2	182 12.0	36 2.4	1,516 100.0
R3	361 20.3	131 7.4	1,093 61.4	176 9.9	18 1.0	1,779 100.0
H30	324 17.1	125 6.6	1,251 65.9	174 9.2	24 1.3	1,898 100.0
H27	241 13.2	123 6.7	1,248 68.3	186 10.2	28 1.5	1,826 100.0
H25	257 14.2	98 5.4	1,226 67.7	188 10.4	43 2.4	1,812 100.0
H22	39 3.1	347 27.4	852 67.2	- -	30 2.4	1,268 100.0
H19	58 5.3	265 24.2	731 66.9	- -	39 3.6	1,093 100.0
H16	30 2.9	197 18.8	720 68.8	- -	100 9.6	1,047 100.0

※1 平成22年度以前は「一部固定している」と答えた人数

※2 平成22年度以前は「固定していない」と答えた人数



問27 問26で「2. 寝室（子供部屋を含む）だけは固定している」～「3. 固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない」と回答した人におたずねします。

家具や家電などの固定をしていないのはどのような理由からですか。（当てはまるものすべてに○）

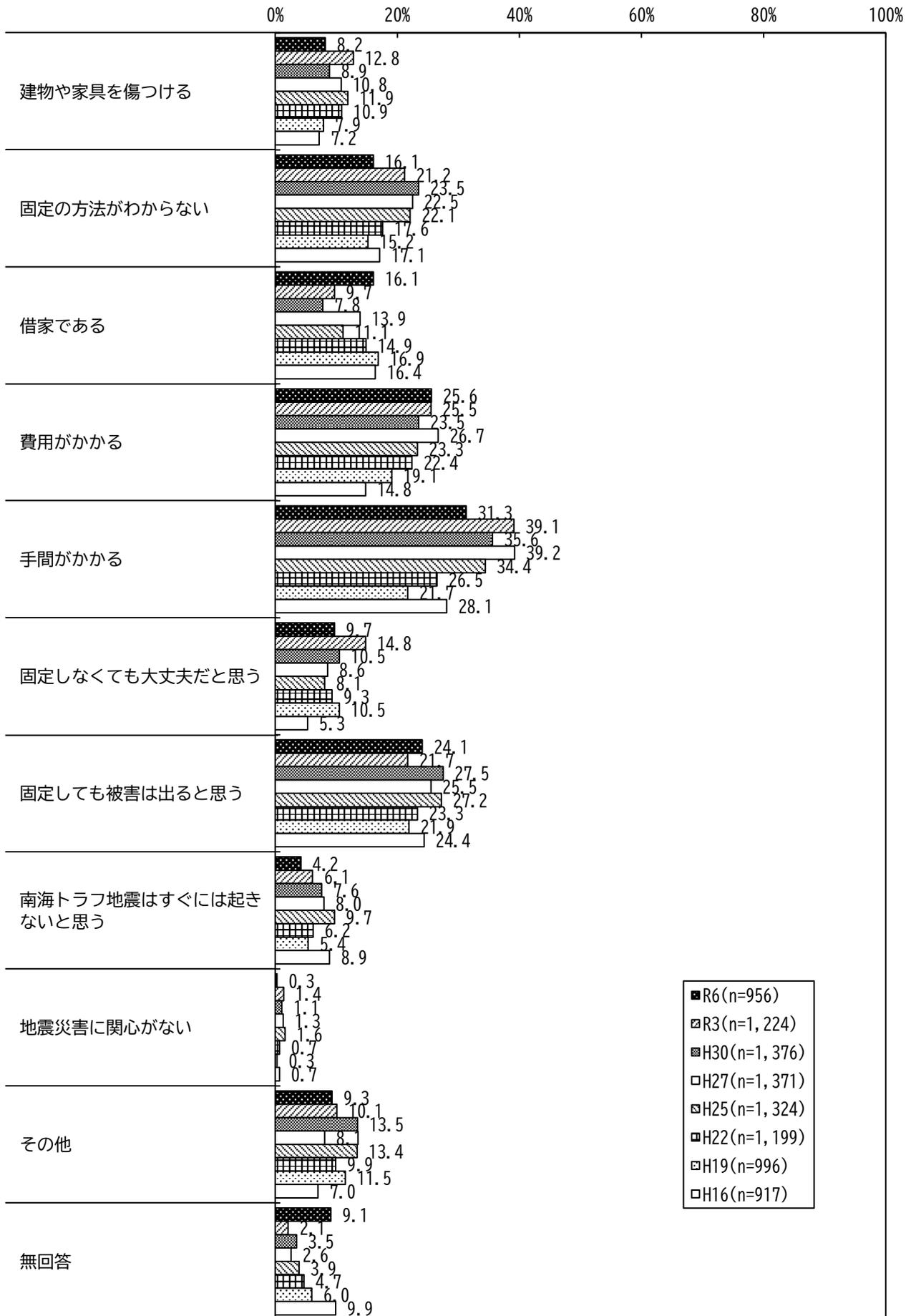
各年度とも「手間がかかる」が最も高くなっており、少ない手間や費用で実施できる転倒防止策について具体的な情報発信が必要である。

上段：人数
下段：%

	建物や家具を傷つける	固定の方法がわからない	借家である	費用がかかる	手間がかかる	固定しなくても大丈夫だと思う	固定しても被害は出ると思う	南海トラフ地震はすぐには起きないと思う	地震災害に関心がない	その他	無回答	合計
R6	78 8.2	154 16.1	154 16.1	245 25.6	299 31.3	93 9.7	230 24.1	40 4.2	3 0.3	89 9.3	87 9.1	956
R3※1	157 12.8	259 21.2	119 9.7	312 25.5	479 39.1	181 14.8	265 21.7	75 6.1	17 1.4	124 10.1	26 2.1	1,224
H30※1	122 8.9	324 23.5	108 7.8	323 23.5	490 35.6	144 10.5	378 27.5	105 7.6	15 1.1	186 13.5	48 3.5	1,376
H27※1	148 10.8	309 22.5	191 13.9	366 26.7	538 39.2	118 8.6	350 25.5	109 8.0	18 1.3	111 8.1	36 2.6	1,371
H25※1	158 11.9	293 22.1	147 11.1	308 23.3	455 34.4	107 8.1	360 27.2	128 9.7	21 1.6	178 13.4	51 3.9	1,324
H22※2	131 10.9	211 17.6	179 14.9	269 22.4	318 26.5	112 9.3	279 23.3	74 6.2	8 0.7	119 9.9	56 4.7	1,199
H19※2	79 7.9	151 15.2	168 16.9	190 19.1	216 21.7	105 10.5	218 21.9	54 5.4	3 0.3	115 11.5	60 6.0	996
H16※2	66 7.2	157 17.1	150 16.4	136 14.8	258 28.1	49 5.3	224 24.4	82 8.9	6 0.7	64 7.0	91 9.9	917

※1 「寝室（子供部屋を含む）だけは固定している」・「固定が必要な家具や家電はあるが固定していない」と答えた人数

※2 「固定はしていない」・「一部固定している」と答えた人数

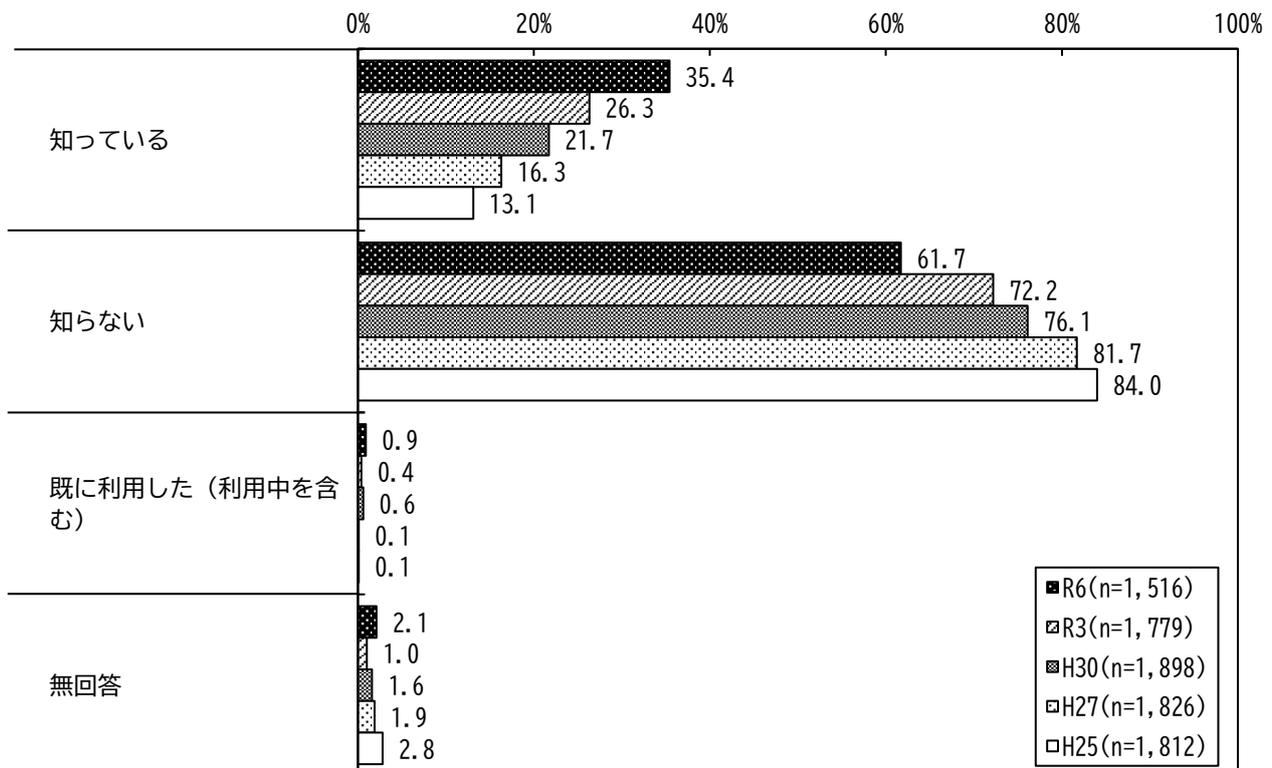


問28 家具や家電などの固定について、取付け工賃等の補助制度があることをご存知ですか。

(ひとつだけ○)

「知っている」は年々増加しており、令和6年度では35.4%となっており、平成25年度の13.1%から22.3ポイント増加している。

	上段：人数		下段：%		
	知っている	知らない	既に利用した (利用中を含む)	無回答	合計
R6	536 35.4	935 61.7	13 0.9	32 2.1	1,516 100.0
R3	468 26.3	1,285 72.2	8 0.4	18 1.0	1,779 100.0
H30	411 21.7	1,445 76.1	12 0.6	30 1.6	1,898 100.0
H27	298 16.3	1,491 81.7	2 0.1	35 1.9	1,826 100.0
H25	238 13.1	1,522 84.0	1 0.1	51 2.8	1,812 100.0



問29 家具や家電などの固定を促進するために、県や市町村では何をすべきだと思いますか。

(当てはまるものすべてに○)

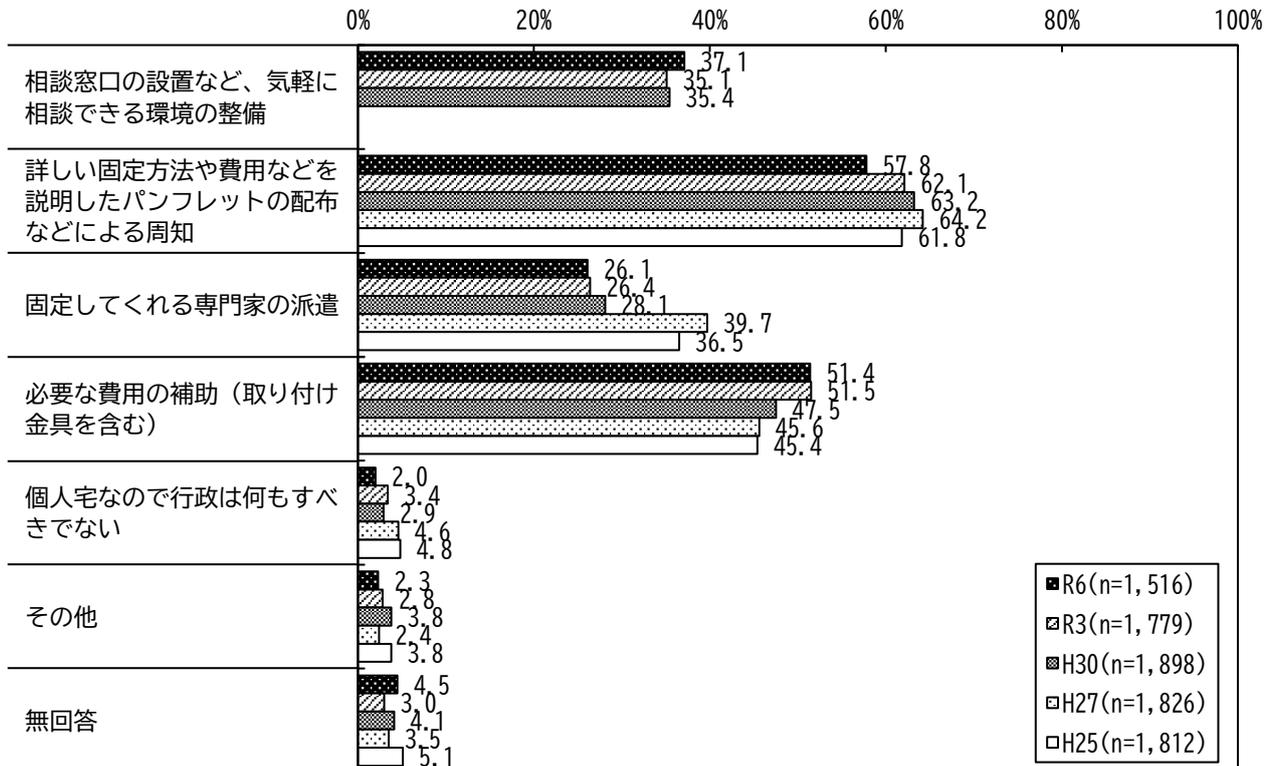
平成25年以降「必要な費用の補助（取り付け金具を含む）」が増加している。

各年度とも「詳しい固定方法や費用などを説明したパンフレットの配布などによる周知」が最も高くなっており、更なる周知徹底が必要である。

	上段：人数		下段：%						
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
	相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備	562	37.1	876	57.8	396	26.1	779	51.4
	詳しい固定方法や費用などを説明したパンフレットの配布などによる周知※ ¹	625	35.1	1,104	62.1	469	26.4	917	51.5
	固定してくれる専門家の派遣※ ²	672	35.4	1,200	63.2	533	28.1	901	47.5
	必要な費用の補助（取り付け金具を含む）	-	-	1,173	64.2	725	39.7	833	45.6
	個人宅なので行政は何もすべきでない	-	-	1,119	61.8	661	36.5	823	45.4
	その他	-	-	-	-	-	-	84	4.6
	無回答	-	-	-	-	-	-	69	3.8
	合計	1,516		1,779		1,898		1,826	

※1 平成27年度以前は「詳しい方法や費用の広報」と答えた人数

※2 平成27年度以前は「無料で固定してくれる専門家の派遣」と答えた人数

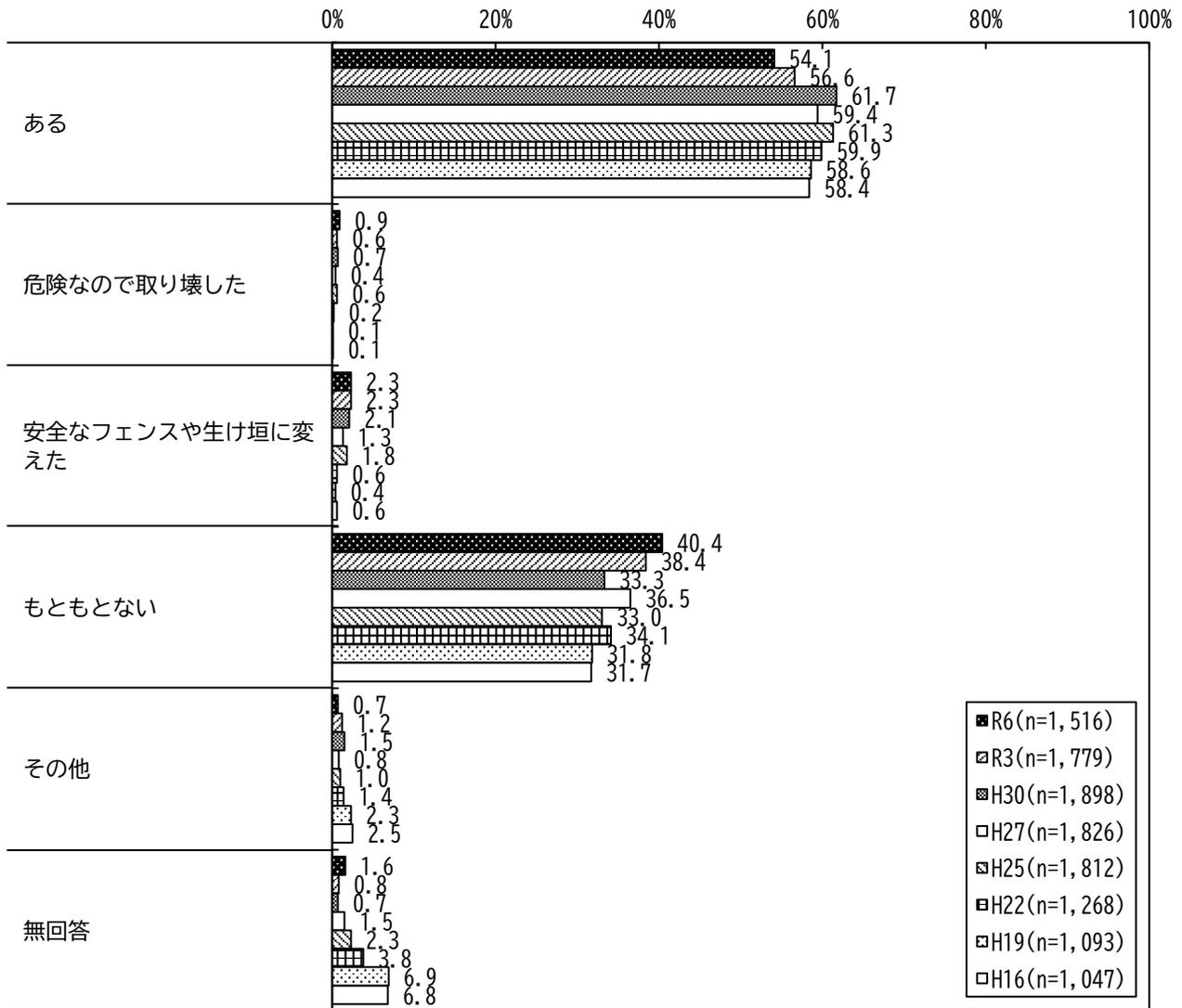


問30 あなたのお宅の敷地にはブロック塀や石塀、門柱などがありますか。(ひとつだけ○)

各年度とも大きな差はないが、「ある」が54.1%と各年度の中で最も低くなっている。

上段：人数
下段：%

	ある	危険なので取り壊した	安全なフェンスや生け垣に変えた	もともとな	その他	無回答	合計
R6	820 54.1	13 0.9	35 2.3	613 40.4	11 0.7	24 1.6	1,516 100.0
R3	1,007 56.6	11 0.6	41 2.3	684 38.4	22 1.2	14 0.8	1,779 100.0
H30	1,172 61.7	13 0.7	39 2.1	632 33.3	28 1.5	14 0.7	1,898 100.0
H27	1,085 59.4	8 0.4	24 1.3	666 36.5	15 0.8	28 1.5	1,826 100.0
H25	1,111 61.3	10 0.6	32 1.8	598 33.0	19 1.0	42 2.3	1,812 100.0
H22	760 59.9	3 0.2	8 0.6	432 34.1	18 1.4	48 3.8	1,268 100.0
H19	640 58.6	1 0.1	4 0.4	348 31.8	25 2.3	75 6.9	1,093 100.0
H16	611 58.4	1 0.1	6 0.6	331 31.7	26 2.5	71 6.8	1,047 100.0



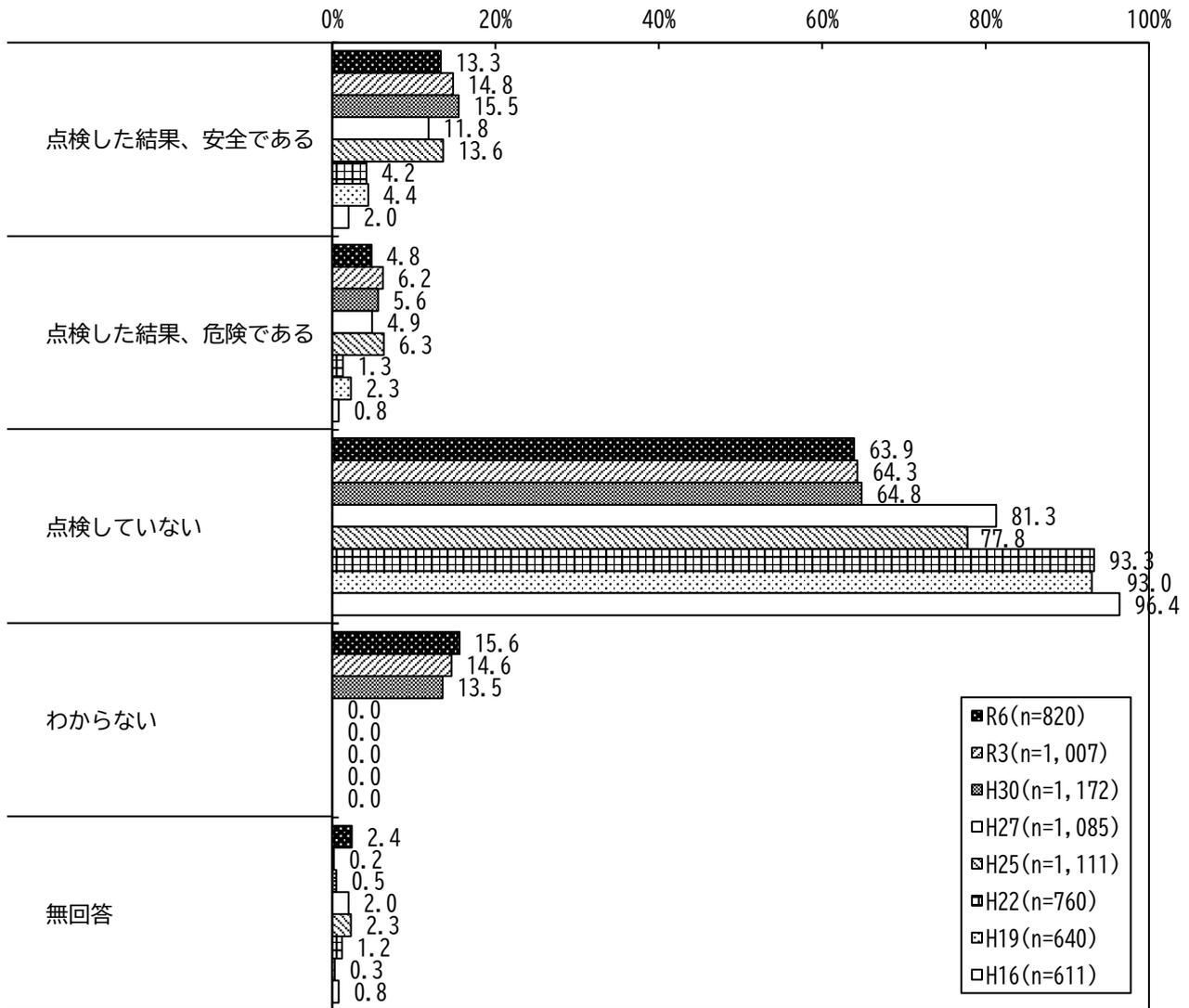
問31 問30で「1. ある」と回答した人におたずねします。

ブロック塀や石塀、門柱などの地震時の安全性を点検しましたか。(ひとつだけ○)

各年度とも「点検していない」が最も高く、令和6年度でも63.9%となっているが、平成16年度以降減少の傾向にある。

	点検した結果、		点検していな	わからない	無回答	合計
	安全である	危険である				
R6	109 13.3	39 4.8	524 63.9	128 15.6	20 2.4	820 100.0
R3	149 14.8	62 6.2	647 64.3	147 14.6	2 0.2	1,007 100.0
H30※1	182 15.5	66 5.6	760 64.8	158 13.5	6 0.5	1,172 100.0
H27※1	128 11.8	53 4.9	882 81.3	- -	22 2.0	1,085 100.0
H25※1	151 13.6	70 6.3	864 77.8	- -	26 2.3	1,111 100.0
H22	32 4.2	10 1.3	709 93.3	- -	9 1.2	760 100.0
H19	28 4.4	15 2.3	595 93.0	- -	2 0.3	640 100.0
H16	12 2.0	5 0.8	589 96.4	- -	5 0.8	611 100.0

※1 「敷地にブロック塀や石塀・門柱などがある」と答えた人数



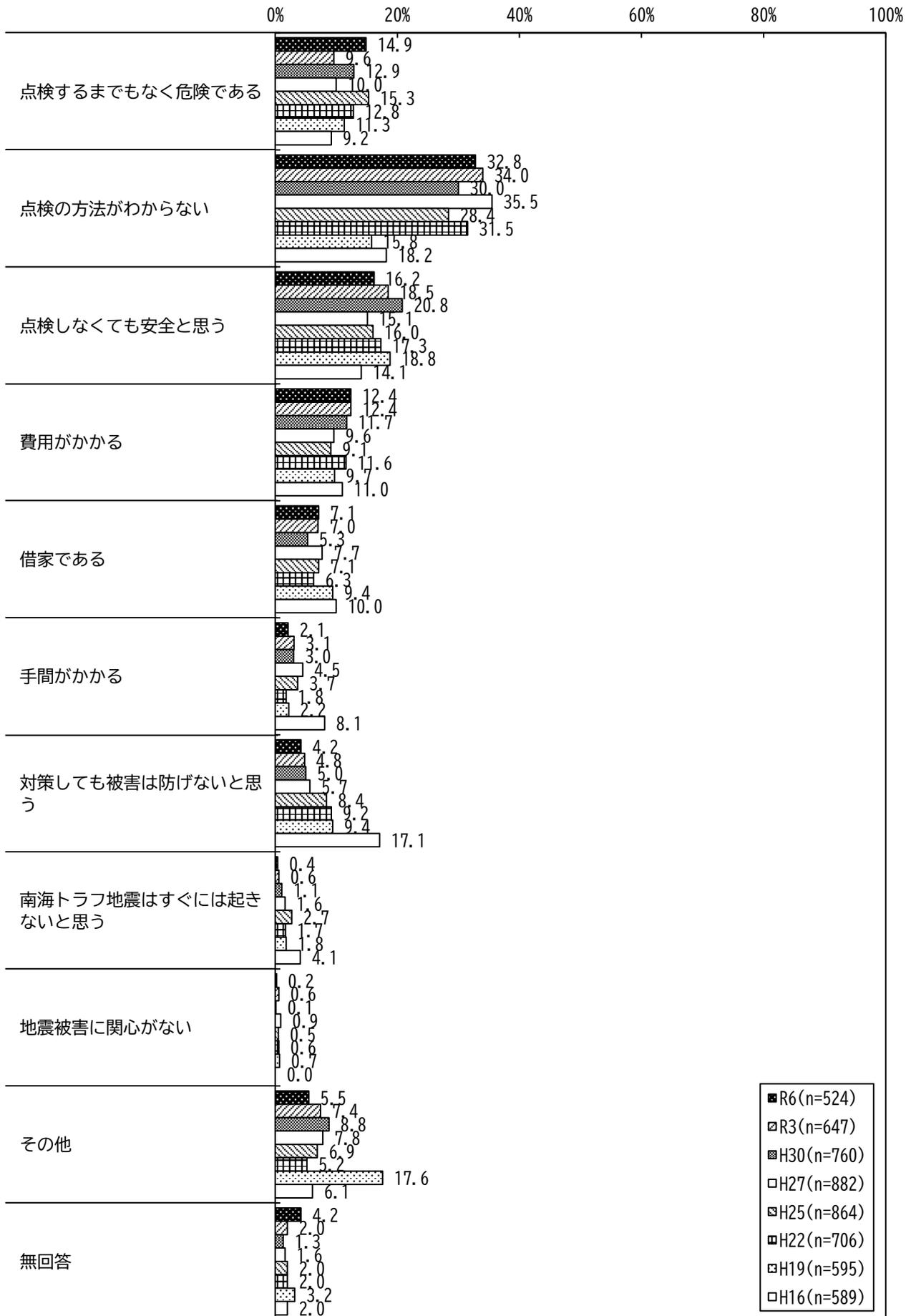
問32 問31で「3. 点検していない」と回答した人におたずねします。安全性について点検していないのはどのような理由からですか。(ひとつだけ○)

各年度で大きな変化はない。

上段：人数
下段：%

	点検するまでもなく危険である	点検の方法がわからない	点検しなくても安全と思う	費用がかかる	借家である	手間がかかる	対策しても被害は防げないと思う	南海トラフ地震はすぐには起きないと思う	地震被害に関心がない	その他	無回答	合計
R6	78 14.9	172 32.8	85 16.2	65 12.4	37 7.1	11 2.1	22 4.2	2 0.4	1 0.2	29 5.5	22 4.2	524 100.0
R3	62 9.6	220 34.0	120 18.5	80 12.4	45 7.0	20 3.1	31 4.8	4 0.6	4 0.6	48 7.4	13 2.0	647 100.0
H30※1	98 12.9	228 30.0	158 20.8	89 11.7	40 5.3	23 3.0	38 5.0	8 1.1	1 0.1	67 8.8	10 1.3	760 100.0
H27※1	88 10.0	313 35.5	133 15.1	85 9.6	68 7.7	40 4.5	50 5.7	14 1.6	8 0.9	69 7.8	14 1.6	882 100.0
H25※1	132 15.3	245 28.4	138 16.0	79 9.1	61 7.1	32 3.7	73 8.4	23 2.7	4 0.5	60 6.9	17 2.0	864 100.0
H22※2	90 12.8	222 31.5	122 17.3	82 11.6	45 6.3	13 1.8	65 9.2	12 1.7	4 0.6	37 5.2	14 2.0	706 100.0
H19※2	67 11.3	94 15.8	112 18.8	58 9.7	56 9.4	13 2.2	56 9.4	11 1.8	4 0.7	105 17.6	19 3.2	595 100.0
H16※2	54 9.2	107 18.2	83 14.1	65 11.0	59 10.0	48 8.1	101 17.1	24 4.1	0 0.0	36 6.1	12 2.0	589 100.0

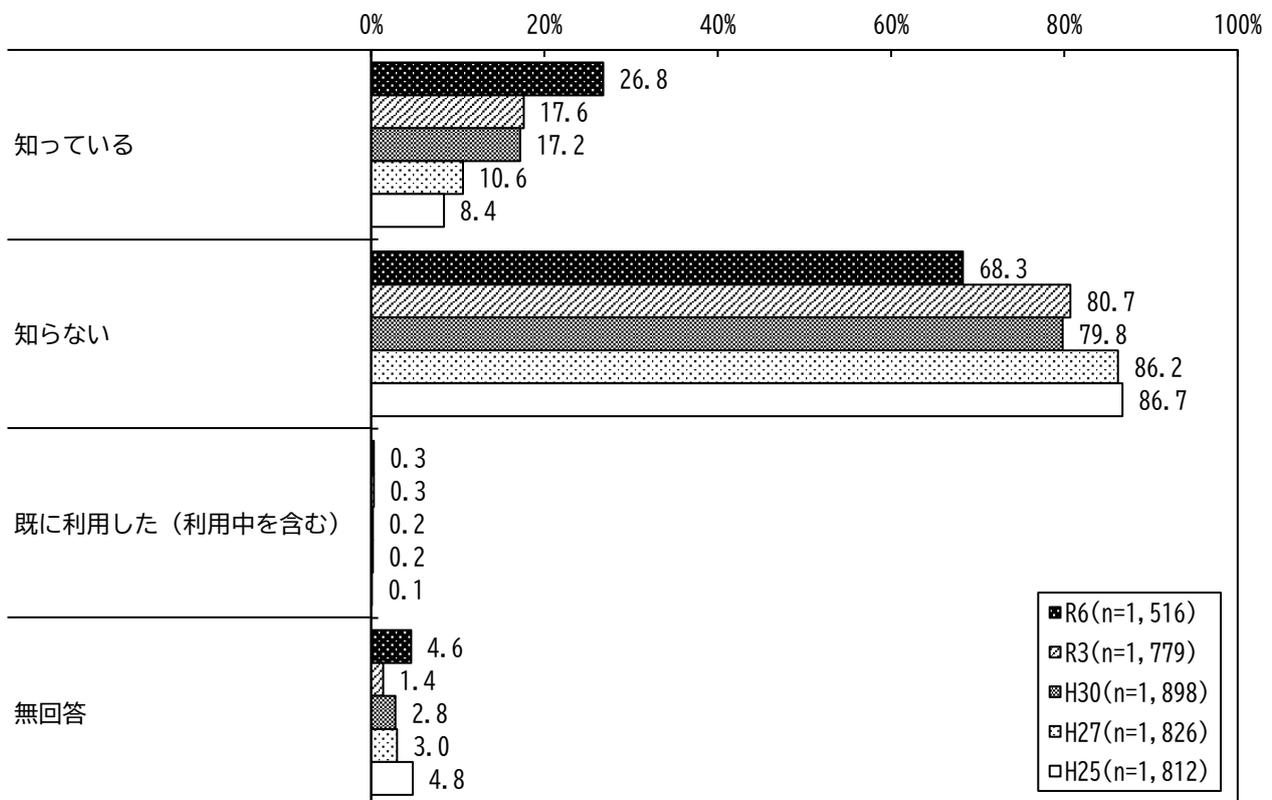
※1 「ブロック塀や石塀・門柱などの安全性の点検をしていない」と答えた人数



問34 市町村が国、県の支援を受けて緊急輸送路や避難路に面している危険性の高いブロック塀などの解体又は安全なフェンスや生け垣などに改修する費用に対して補助をしていますか。(ひとつだけ○)

令和6年度では、「知らない」の割合が68.3%と令和3年度より12.4ポイント減少している。

	上段：人数 下段：%				合計
	知っている	知らない	既に利用した(利用中を含む)	無回答	
R6	406 26.8	1,036 68.3	5 0.3	69 4.6	1,516 100.0
R3	313 17.6	1,435 80.7	6 0.3	25 1.4	1,779 100.0
H30	326 17.2	1,515 79.8	3 0.2	54 2.8	1,898 100.0
H27	193 10.6	1,574 86.2	4 0.2	55 3.0	1,826 100.0
H25	152 8.4	1,571 86.7	2 0.1	87 4.8	1,812 100.0



問43 問42で「1. 知っている」、「3. すでに利用した（利用中を含む）」と回答した人におたずねします。
 どのようにして、この補助金制度を知りましたか。（当てはまるものすべてに○）

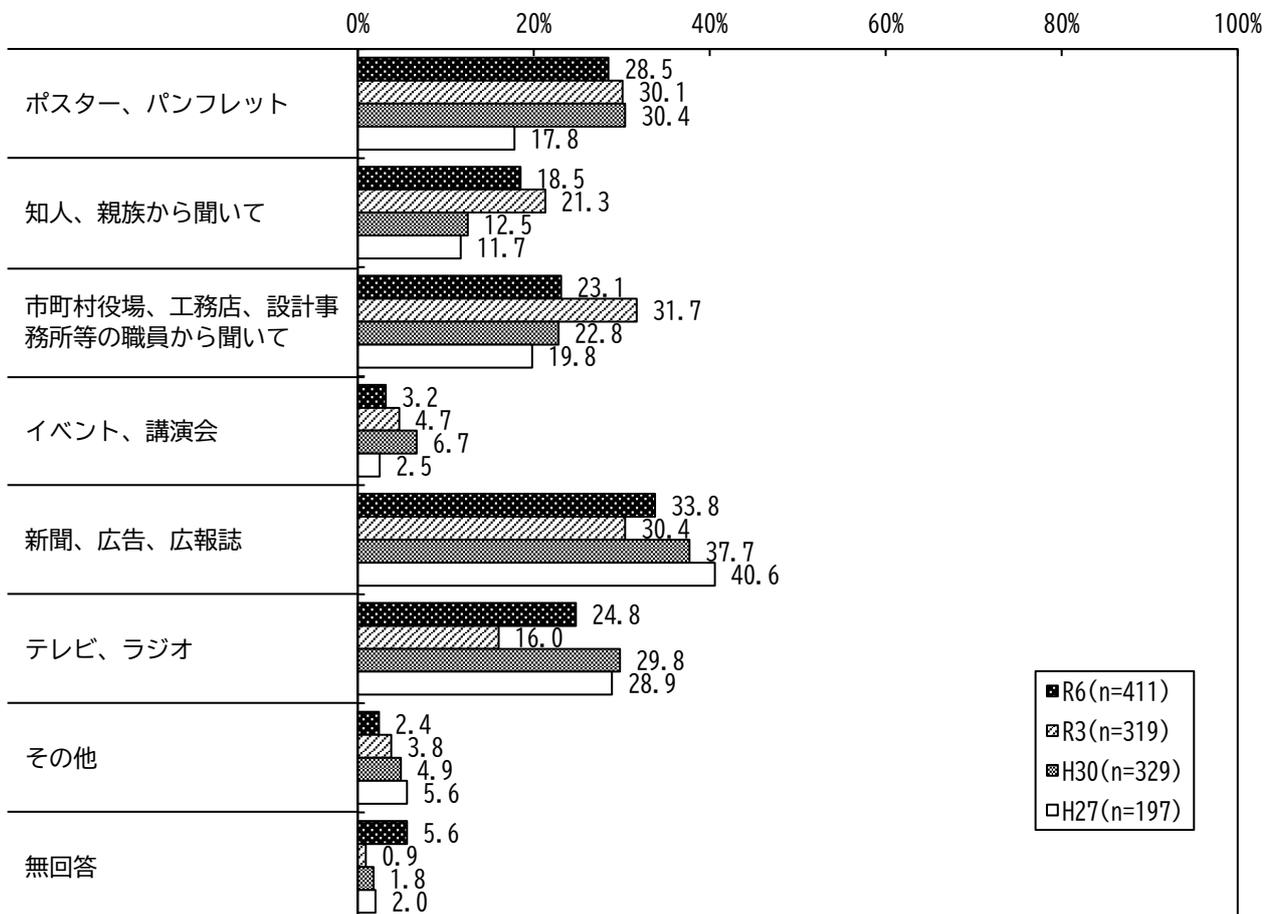
令和3年度と比較すると、「新聞、広告、広報誌」が3.4ポイント、「テレビ、ラジオ」が8.8ポイント増加している。

一方、「市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて」が8.6ポイント減少している。

上段：人数
 下段：%

	ポスター、パンフレット	知人、親族から聞いて	市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて※1	イベント、講演会	新聞、広告、広報誌	テレビ、ラジオ	その他	無回答	合計
R6	117 28.5	76 18.5	95 23.1	13 3.2	139 33.8	102 24.8	10 2.4	23 5.6	411
R3	96 30.1	68 21.3	101 31.7	15 4.7	97 30.4	51 16.0	12 3.8	3 0.9	319
H30	100 30.4	41 12.5	75 22.8	22 6.7	124 37.7	98 29.8	16 4.9	6 1.8	329
H27	35 17.8	23 11.7	39 19.8	5 2.5	80 40.6	57 28.9	11 5.6	4 2.0	197

※1 平成27年度は「役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて」と答えた人数



問36 今後、ブロック塀や石塀、門柱などの倒壊防止を促進するために、県や市町村は、何をすべきだと思いますか。(当てはまるものすべてに○)

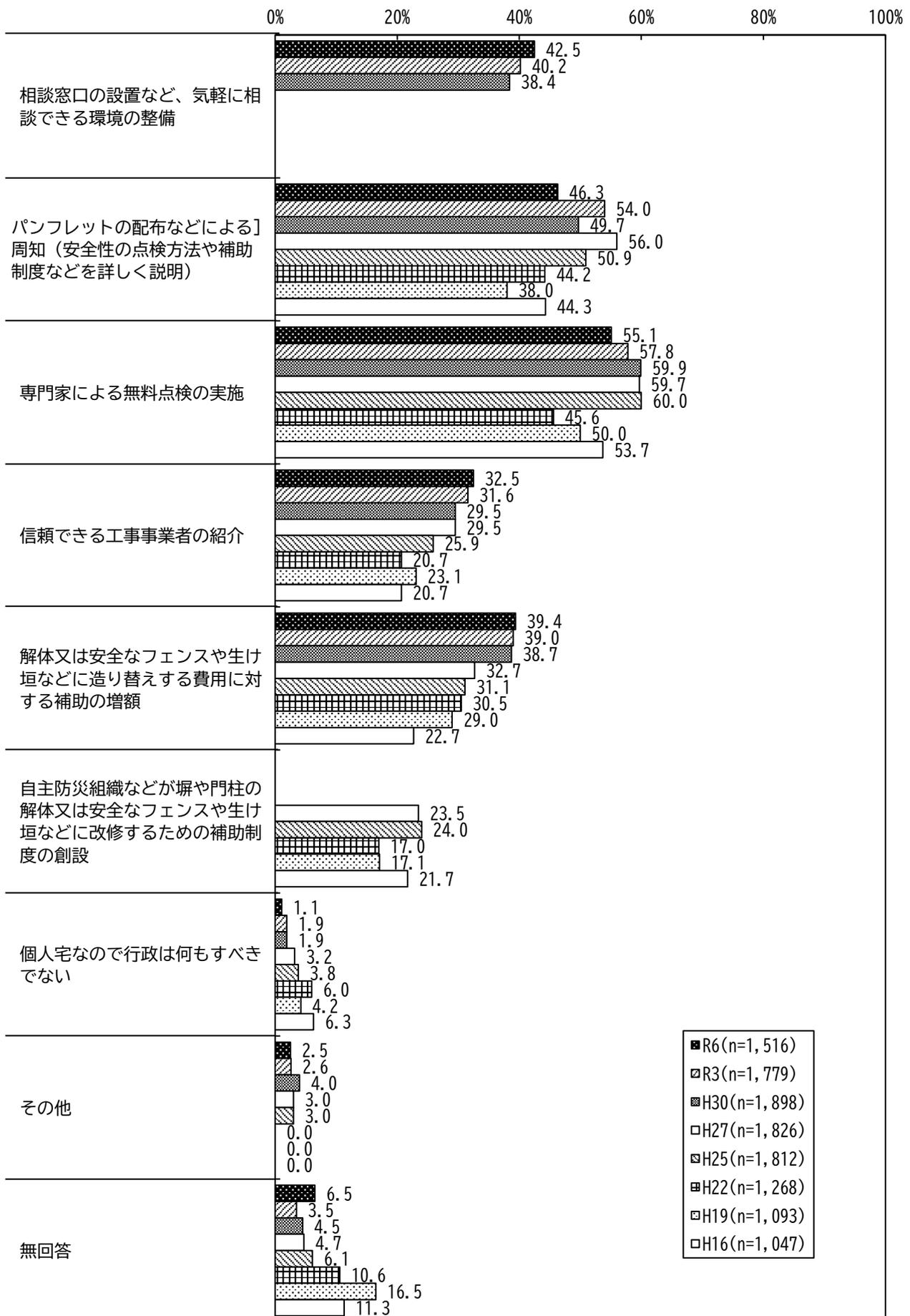
各年代で「専門家による無料点検の実施」が最も高く、次いで「パンフレットの配布などによる周知(安全性の点検方法や補助制度などを詳しく説明)」が高くなっており、この順番は平成16年度以降変わっていない。

上段：人数
下段：%

	相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備	パンフレットの配布などによる周知(安全性の点検方法や補助制度などを詳しく説明) ※1	専門家による無料点検の実施	信頼できる工事業業者の紹介	解体又は安全なフェンスや生け垣などに造り替える費用に対する補助の増額 ※2	自主防災組織などが塀や門柱の解体又は安全なフェンスや生け垣などに改修するための補助制度の創設	個人宅なので行政は何もすべきでない	その他	無回答	合計
R6	645 42.5	702 46.3	835 55.1	493 32.5	597 39.4	- -	17 1.1	38 2.5	98 6.5	1,516
R3	715 40.2	961 54.0	1,028 57.8	562 31.6	693 39.0	- -	33 1.9	46 2.6	62 3.5	1,779
H30	728 38.4	944 49.7	1,137 59.9	560 29.5	734 38.7	- -	36 1.9	76 4.0	85 4.5	1,898
H27	- -	1,022 56.0	1,090 59.7	538 29.5	598 32.7	429 23.5	59 3.2	54 3.0	86 4.7	1,826
H25	- -	923 50.9	1,088 60.0	469 25.9	563 31.1	434 24.0	69 3.8	55 3.0	110 6.1	1,812
H22	- -	561 44.2	578 45.6	263 20.7	387 30.5	216 17.0	76 6.0	0 0.0	134 10.6	1,268
H19	- -	415 38.0	547 50.0	253 23.1	317 29.0	187 17.1	46 4.2	0 0.0	180 16.5	1,093
H16	- -	133 44.3	161 53.7	62 20.7	68 22.7	65 21.7	19 6.3	0 0.0	34 11.3	300

※1 平成27年度以前は「安全性の点検方法や解体、改修方法などを詳しく説明したパンフレットの配布」と答えた人数

※2 平成27年度以前は「解体又は安全なフェンスや生け垣などに改修する費用に対する補助の増額」と答えた人数



問41 県や市町村が昭和56年5月31日以前に建築された住宅の耐震診断や耐震改修設計、耐震改修工事にかかった費用の一部を補助していますがご存知ですか。(ひとつだけ○)

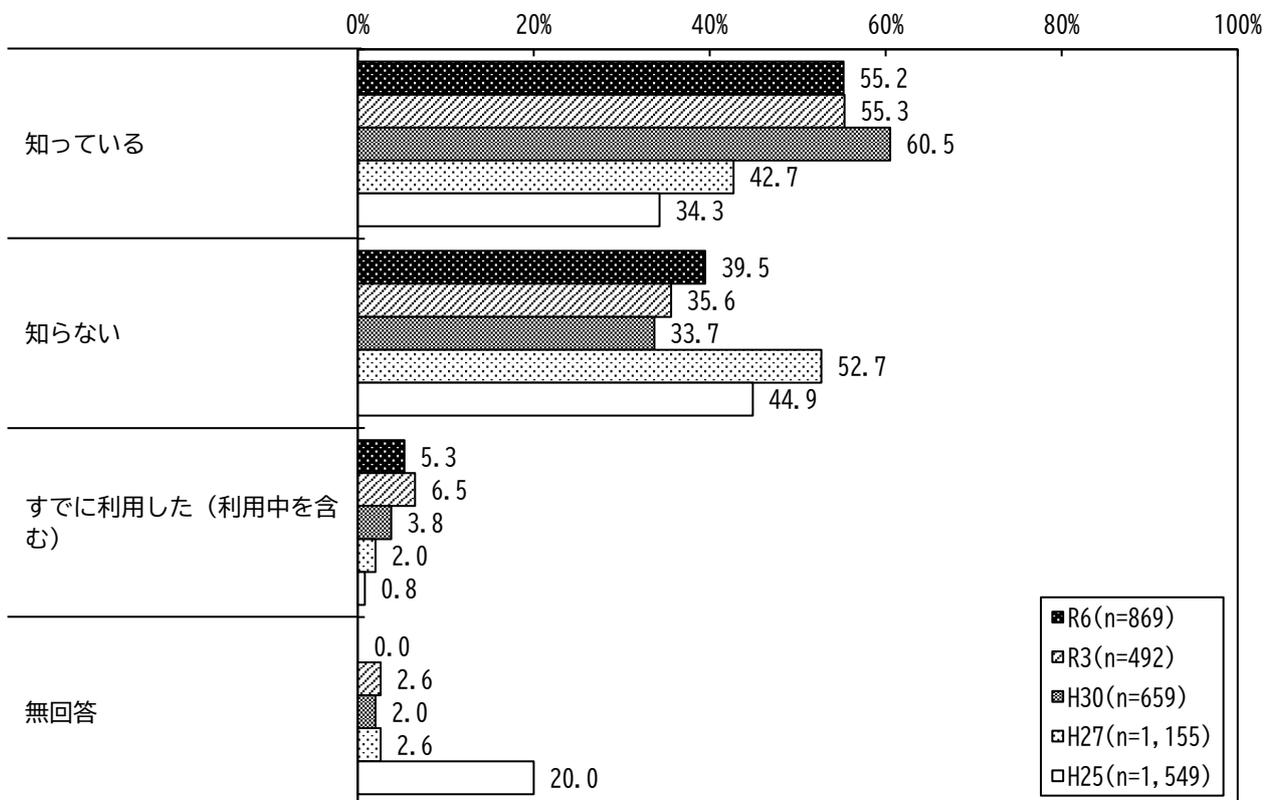
「知っている」は令和6年度は55.2%と、令和3年度と変化はなく、依然として50%以上となっている。

	知っている	知らない	すでに利用した (利用中を含む)	無回答	合計
R6	480 55.2	343 39.5	46 5.3	- -	869 100.0
R3	272 55.3	175 35.6	32 6.5	13 2.6	492 100.0
H30※1	399 60.5	222 33.7	25 3.8	13 2.0	659 100.0
H27※2	493 42.7	609 52.7	23 2.0	30 2.6	1,155 100.0
H25※3	531 34.3	695 44.9	13 0.8	310 20.0	1,549 100.0

※1 住まいが「昭和56年5月以前の木造住宅」・「昭和56年5月以前の非木造住宅」と答えた人数

※2 住まいが「持ち家」であり、構造が「木造」と答えた人数

※3 住まいが「持ち家」と答えた人数



問42 耐震改修工事と耐震改修設計について、自己負担が合わせてどのくらいの金額までなら工事をしてよいと思いますか。(ひとつだけ○)

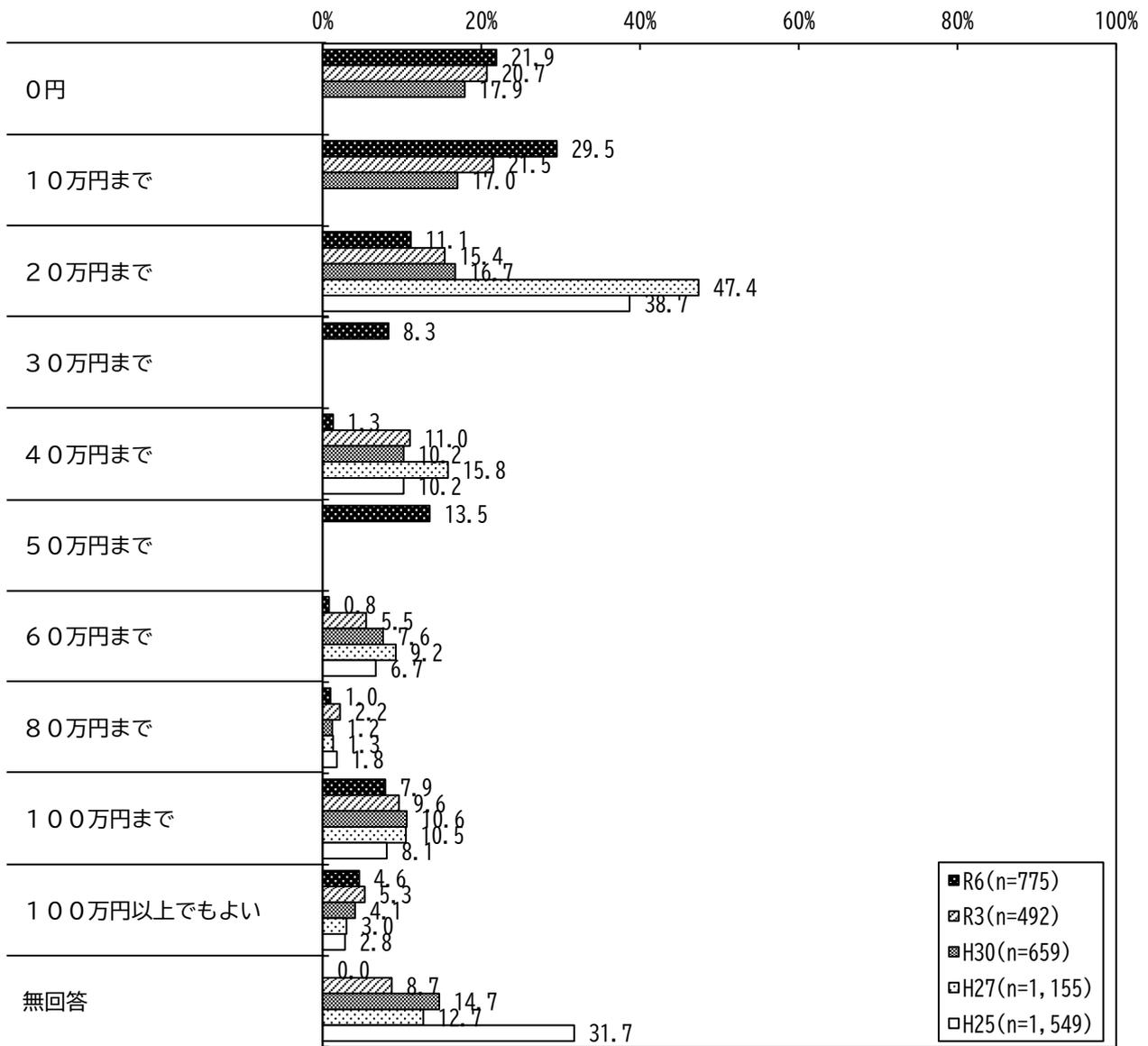
令和6年度では「0円」、「10万円まで」、「20万円まで」を合計すると62.5%となり、平成25年度以降の「20万円まで」で比較すると年々増加している。

	上段：人数 下段：%											合計
	0円	10万円まで	20万円まで	30万円まで	40万円まで	50万円まで	60万円まで	80万円まで	100万円まで	100万円以上でもよい	無回答	
R6	170 21.9	229 29.5	86 11.1	64 8.3	10 1.3	105 13.5	6 0.8	8 1.0	61 7.9	36 4.6	- -	775 100.0
R3	102 20.7	106 21.5	76 15.4	- -	54 11.0	- -	27 5.5	11 2.2	47 9.6	26 5.3	43 8.7	492 100.0
H30※1	118 17.9	112 17.0	110 16.7	- -	67 10.2	- -	50 7.6	8 1.2	70 10.6	27 4.1	97 14.7	659 100.0
H27※2	- -	- -	548 47.4	- -	183 15.8	- -	106 9.2	15 1.3	121 10.5	35 3.0	147 12.7	1,155 100.0
H25※3	- -	- -	599 38.7	- -	158 10.2	- -	104 6.7	28 1.8	125 8.1	44 2.8	491 31.7	1,549 100.0

※1 住まいが「昭和56年5月以前の木造住宅」・「昭和56年5月以前の非木造住宅」と答えた人数

※2 住まいが「持ち家」であり、構造が「木造」と答えた人数

※3 住まいが「持ち家」と答えた人数

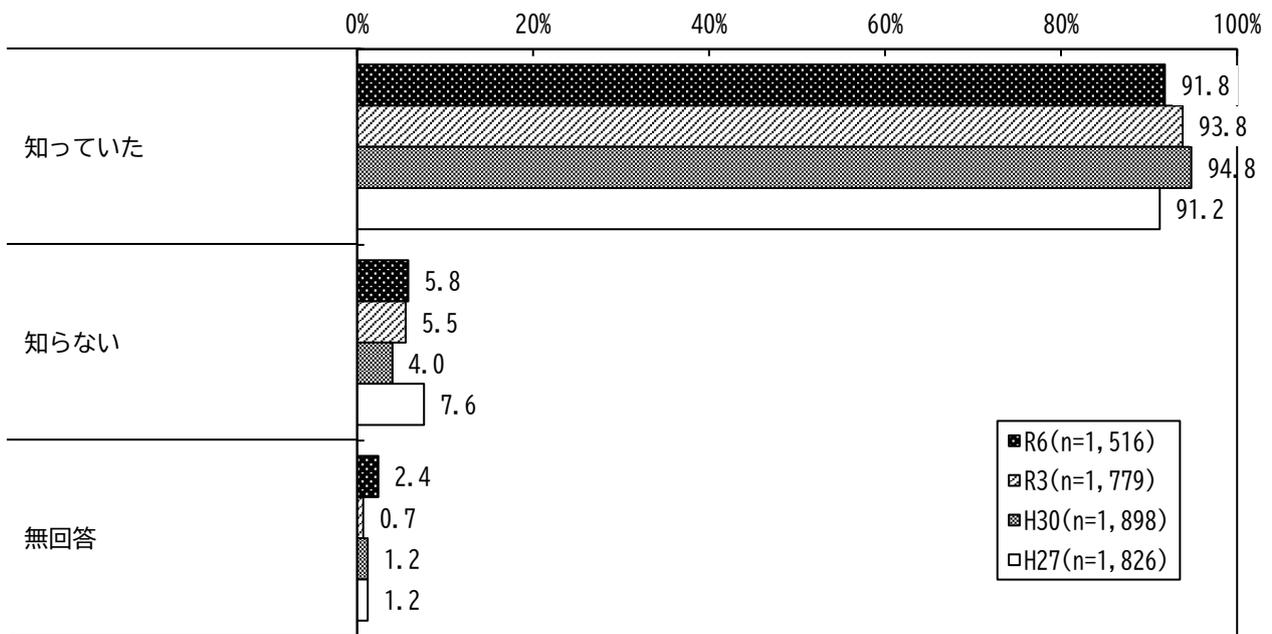


問44 地震時の火災は、大規模火災に発展する可能性があることを知っていましたか。(ひとつだけ○)

それぞれの年度で大きな差はない。

上段：人数
下段：%

	知っていた	知らない	無回答	合計
R6	1,391 91.8	88 5.8	36 2.4	1,516 100.0
R3	1,669 93.8	97 5.5	13 0.7	1,779 100.0
H30	1,800 94.8	76 4.0	22 1.2	1,898 100.0
H27	1,666 91.2	139 7.6	21 1.2	1,826 100.0

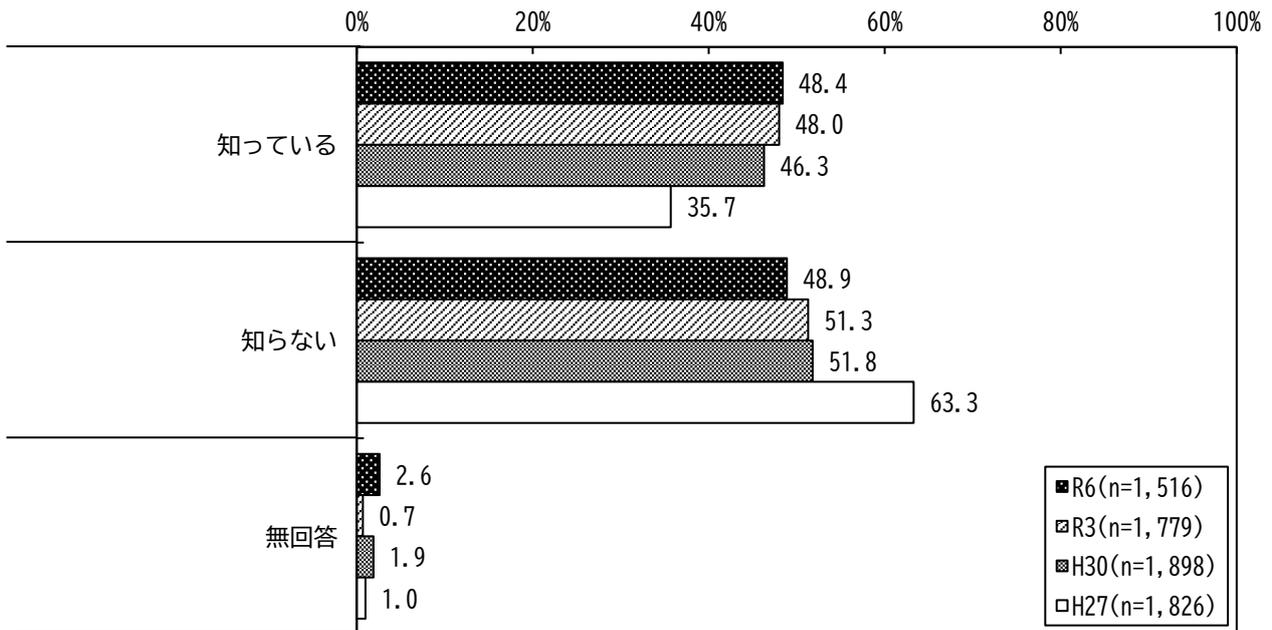


問45 電気器具類からの出火対策に有効といわれている「感震ブレーカー※」を知っていますか。
(ひとつだけ○)

「知っている」は平成27年度以降増加している。

上段：人数
下段：%

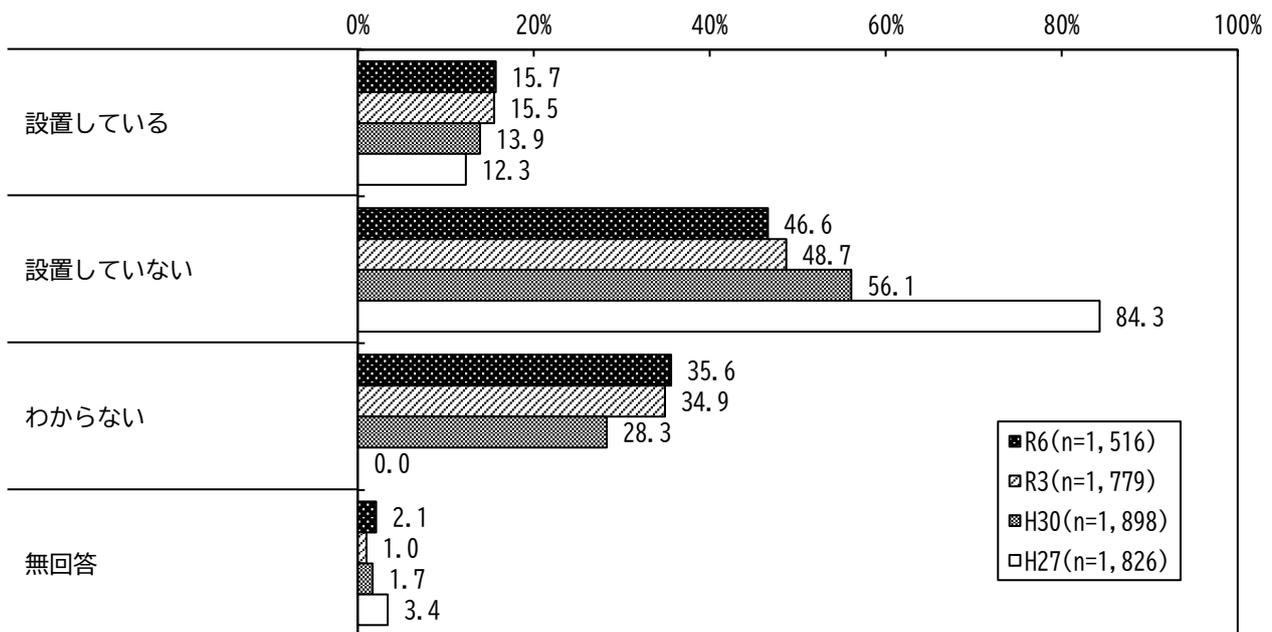
	知っている	知らない	無回答	合計
R6	734 48.4	742 48.9	40 2.6	1,516 100.0
R3	854 48.0	913 51.3	12 0.7	1,779 100.0
H30	878 46.3	984 51.8	36 1.9	1,898 100.0
H27	651 35.7	1,156 63.3	19 1.0	1,826 100.0



問46 ご自宅に感震ブレーカー（簡易タイプを含む）を設置していますか。（ひとつだけ〇）

「設置していない」の割合は、平成27年度は84.3%だったが、令和6年度では46.6%まで減少している。「わからない」は平成30年度から7.3ポイント増加している。

	上段：人数		下段：%		
	設置している	設置していない	わからない	無回答	合計
R6	238 15.7	707 46.6	539 35.6	32 2.1	1,516 100.0
R3	276 15.5	866 48.7	620 34.9	17 1.0	1,779 100.0
H30	264 13.9	1,064 56.1	538 28.3	32 1.7	1,898 100.0
H27	225 12.3	1,539 84.3	- -	62 3.4	1,826 100.0



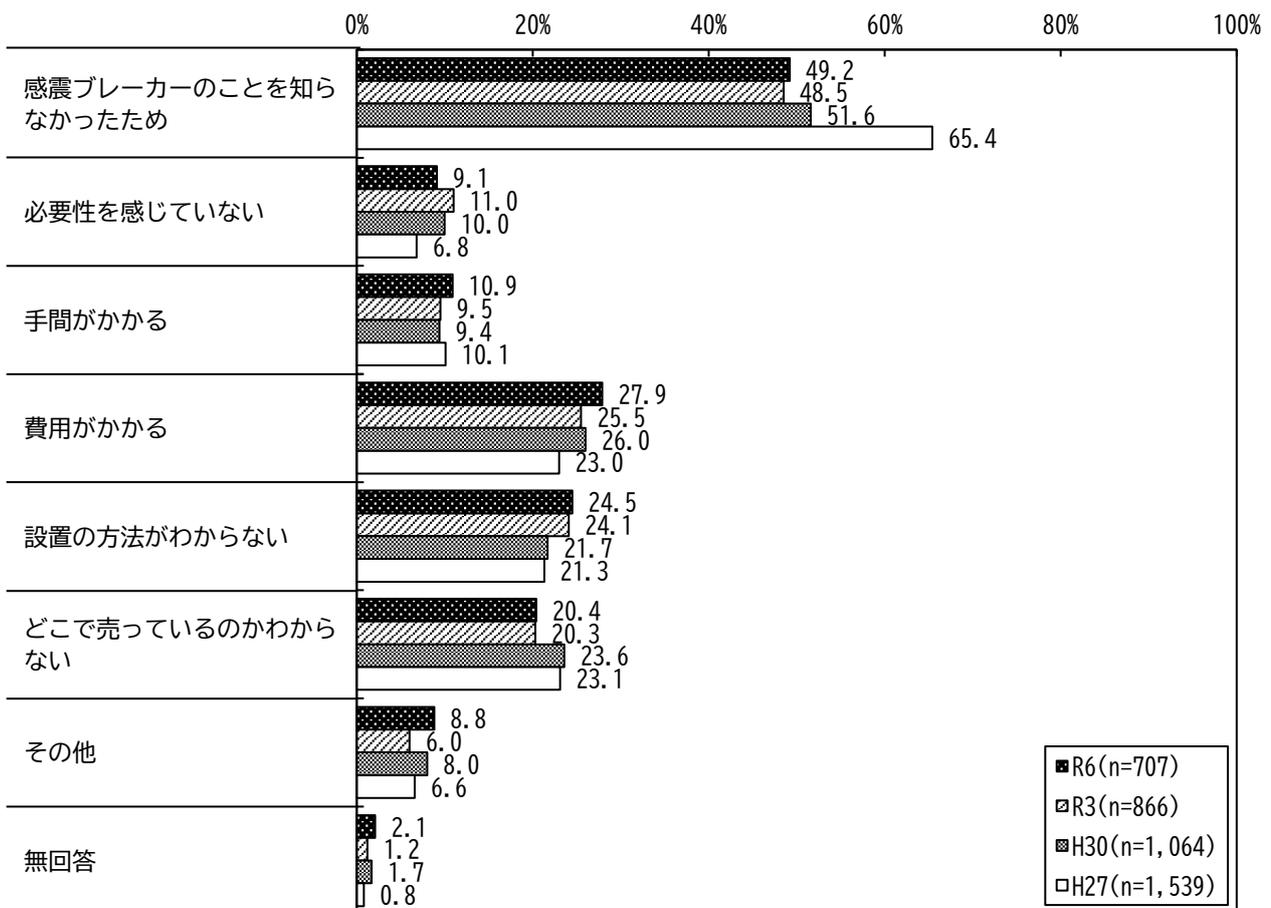
問47 問46で「2. 設置していない」と回答した人におたずねします。

感震ブレーカーを設置していないのは、どのような理由からですか。（当てはまるものすべてに○）

「感震ブレーカーのことを知らなかったため」は平成27年度から割合が減少しており、平成27年度では65.4%だったが、令和6年度は49.2%と16.2ポイント減少している。

上段：人数
下段：%

	感震ブレーカーのことを知らなかったため	必要性を感じていない	手間がかかる	費用がかかる	設置の方法がわからない	どこで売っているのかわからない	その他	無回答	合計
R6	348 49.2	64 9.1	77 10.9	197 27.9	173 24.5	144 20.4	62 8.8	15 2.1	707 100.0
R3	420 48.5	95 11.0	82 9.5	221 25.5	209 24.1	176 20.3	52 6.0	10 1.2	866
H30	549 51.6	106 10.0	100 9.4	277 26.0	231 21.7	251 23.6	85 8.0	18 1.7	1,064
H27	1,007 65.4	104 6.8	155 10.1	354 23.0	328 21.3	355 23.1	101 6.6	12 0.8	1,539

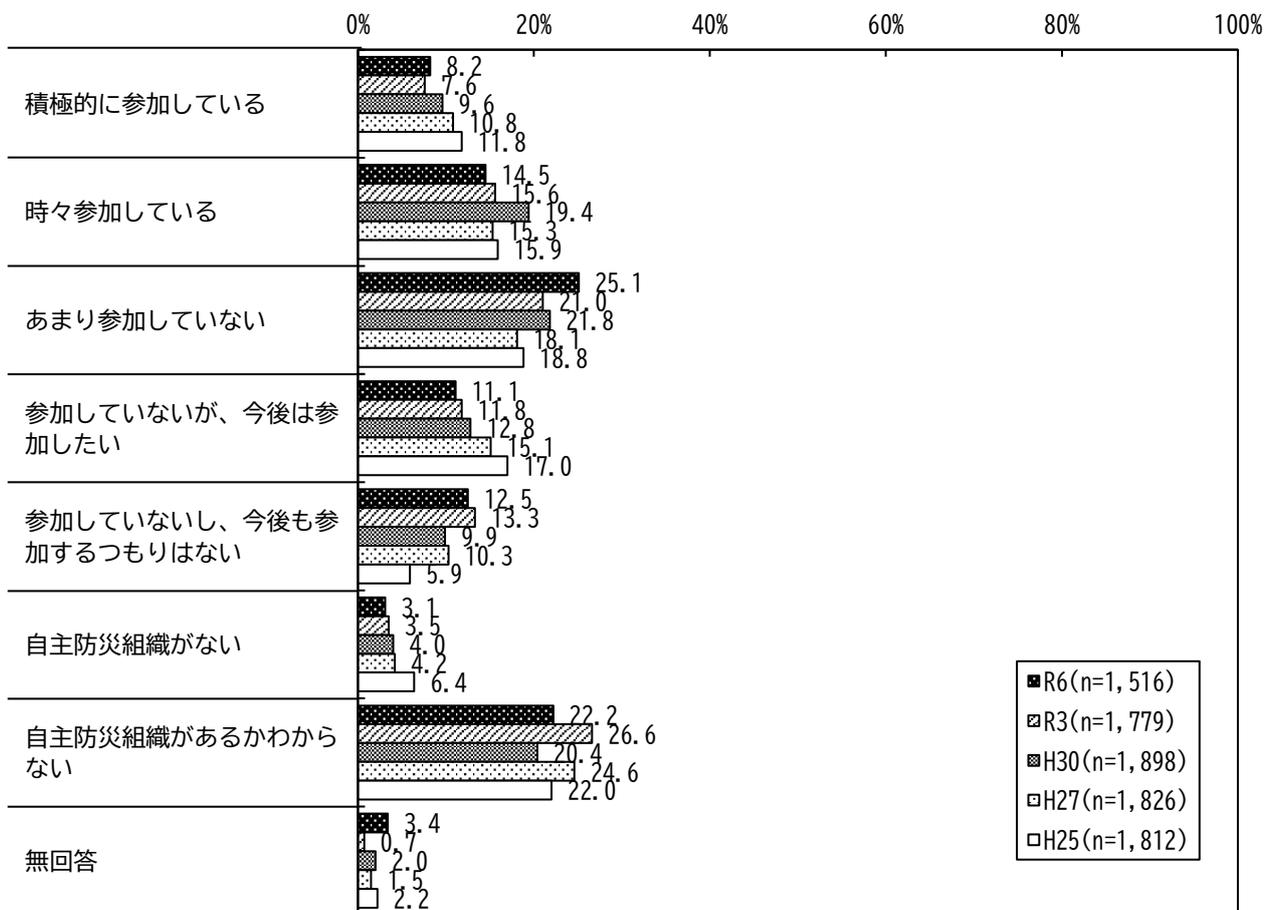


問53 お住まいの地域の自主防災組織の活動（訓練、学習会、避難路の点検など）へ参加していますか。（ひとつだけ○）

「積極的に参加している」は平成25年度以降減少していたが、令和6年度は8.2%と前年度より0.6ポイント増加している。

上段：人数
下段：%

	積極的に参加している	時々参加している	あまり参加していない	参加していないが、今後は参加したい	参加していないし、今後参加するつもりはない	自主防災組織がない	自主防災組織があるかわからない	無回答	合計
R6	125 8.2	220 14.5	380 25.1	168 11.1	189 12.5	47 3.1	336 22.2	51 3.4	1,516 100.0
R3	136 7.6	277 15.6	373 21.0	210 11.8	236 13.3	62 3.5	473 26.6	12 0.7	1,779 100.0
H30	183 9.6	369 19.4	413 21.8	243 12.8	188 9.9	76 4.0	388 20.4	38 2.0	1,898 100.0
H27	198 10.8	280 15.3	331 18.1	276 15.1	188 10.3	76 4.2	449 24.6	28 1.5	1,826 100.0
H25	213 11.8	289 15.9	341 18.8	308 17.0	107 5.9	116 6.4	398 22.0	40 2.2	1,812 100.0



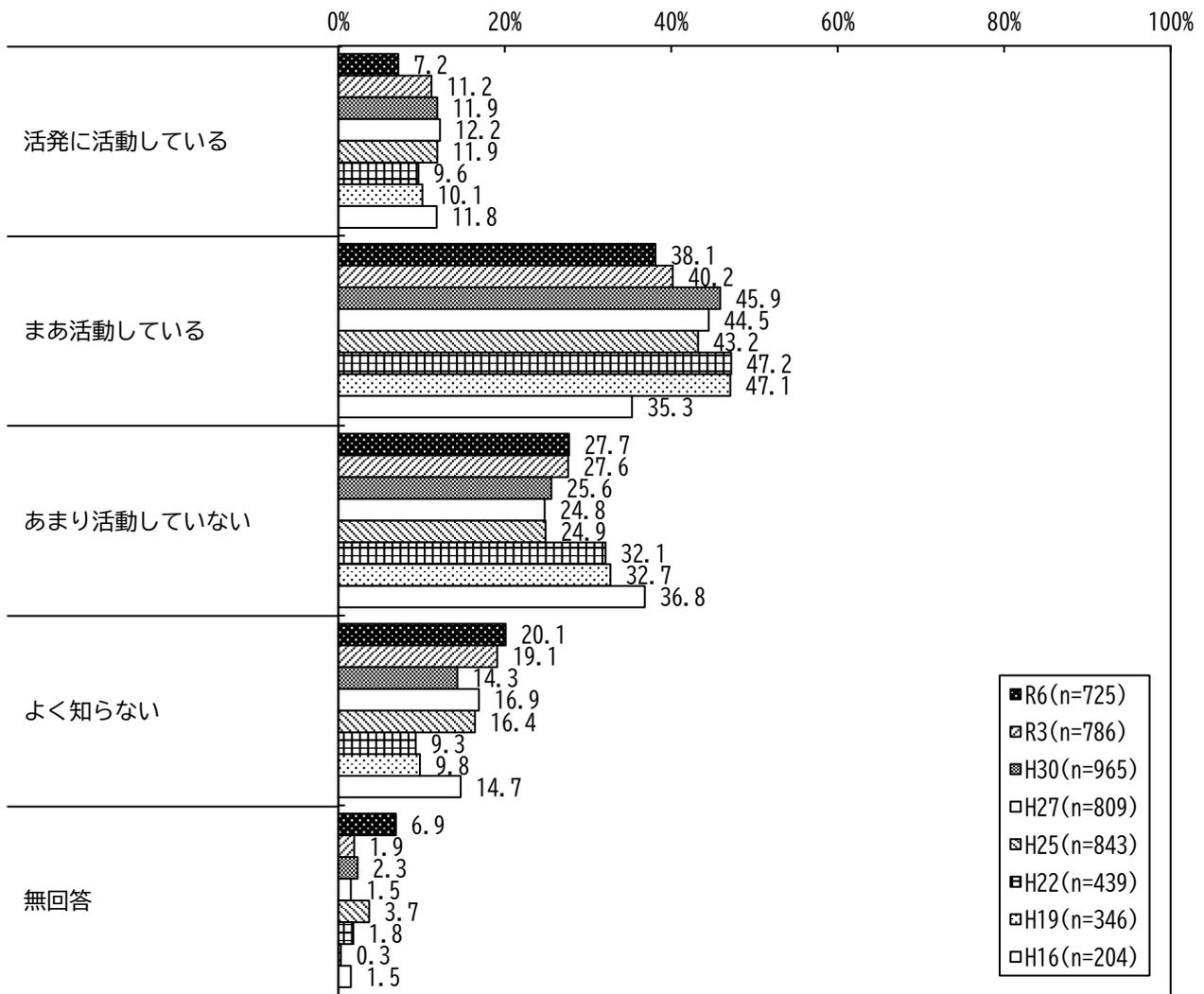
問54 問53で「1. 積極的に参加している」、「2. 時々参加している」、「3. あまり参加していない」と回答した人におたずねします。

お住まいの地域の自主防災組織の活動は活発ですか。(ひとつだけ○)

「よく知らない」が平成22年度より10.8ポイント増加している。

	上段：人数 下段：%					合計
	活発に活動している	まあ活動している	あまり活動していない	よく知らない	無回答	
R6	52 7.2	276 38.1	201 27.7	146 20.1	50 6.9	725 100.0
R3	88 11.2	316 40.2	217 27.6	150 19.1	15 1.9	786 100.0
H30※1	115 11.9	443 45.9	247 25.6	138 14.3	22 2.3	965 100.0
H27※1	99 12.2	360 44.5	201 24.8	137 16.9	12 1.5	809 100.0
H25※1	100 11.9	364 43.2	210 24.9	138 16.4	31 3.7	843 100.0
H22	42 9.6	207 47.2	141 32.1	41 9.3	8 1.8	439 100.0
H19	35 10.1	163 47.1	113 32.7	34 9.8	1 0.3	346 100.0
H16	24 11.8	72 35.3	75 36.8	30 14.7	3 1.5	204 100.0

※1 「お住まいの地域の自主防災組織の活動に参加したことがある」と答えた人数



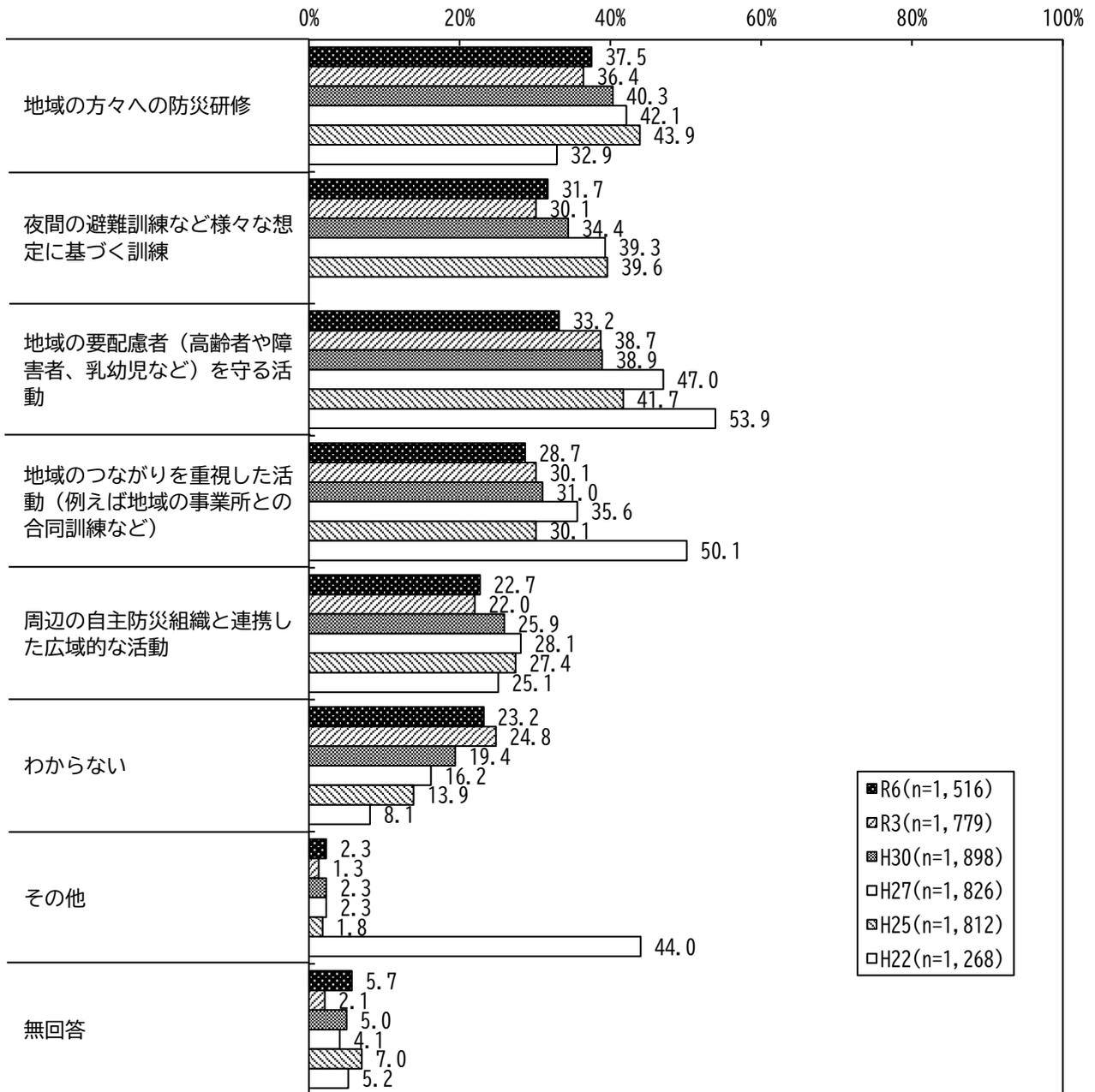
問55 自主防災組織は、これからこういった活動に取り組んでいけばいいと思いますか。

(当てはまるものすべてに○)

それぞれの活動の割合は大きな変化見られないが、「わからない」の割合は、平成22年度の8.1%だったが、令和6年度では23.2%と、15.1ポイント増加している。

上段：人数
下段：%

	地域の方々への防災研修	夜間の避難訓練など様々な想定に基づく訓練	地域の要配慮者（高齢者や障害者、乳幼児など）を守る活動	地域のつながりを重視した活動（例えば地域の事業所との合同訓練など）	周辺の自主防災組織と連携した広域的な活動	わからない	その他	無回答	合計
R6	568 37.5	480 31.7	504 33.2	435 28.7	344 22.7	352 23.2	35 2.3	87 5.7	1,516
R3	648 36.4	535 30.1	689 38.7	535 30.1	391 22.0	442 24.8	24 1.3	38 2.1	1,779
H30	764 40.3	653 34.4	738 38.9	589 31.0	492 25.9	368 19.4	43 2.3	95 5.0	1,898
H27	769 42.1	718 39.3	858 47.0	650 35.6	514 28.1	296 16.2	42 2.3	74 4.1	1,826
H25	795 43.9	717 39.6	755 41.7	545 30.1	497 27.4	252 13.9	33 1.8	126 7.0	1,812
H22	239 32.9	- -	391 53.9	364 50.1	182 25.1	59 8.1	319 44.0	38 5.2	726



問60 過去1年間に地域や職場の地震防災訓練に参加したことがありますか。(ひとつだけ○)

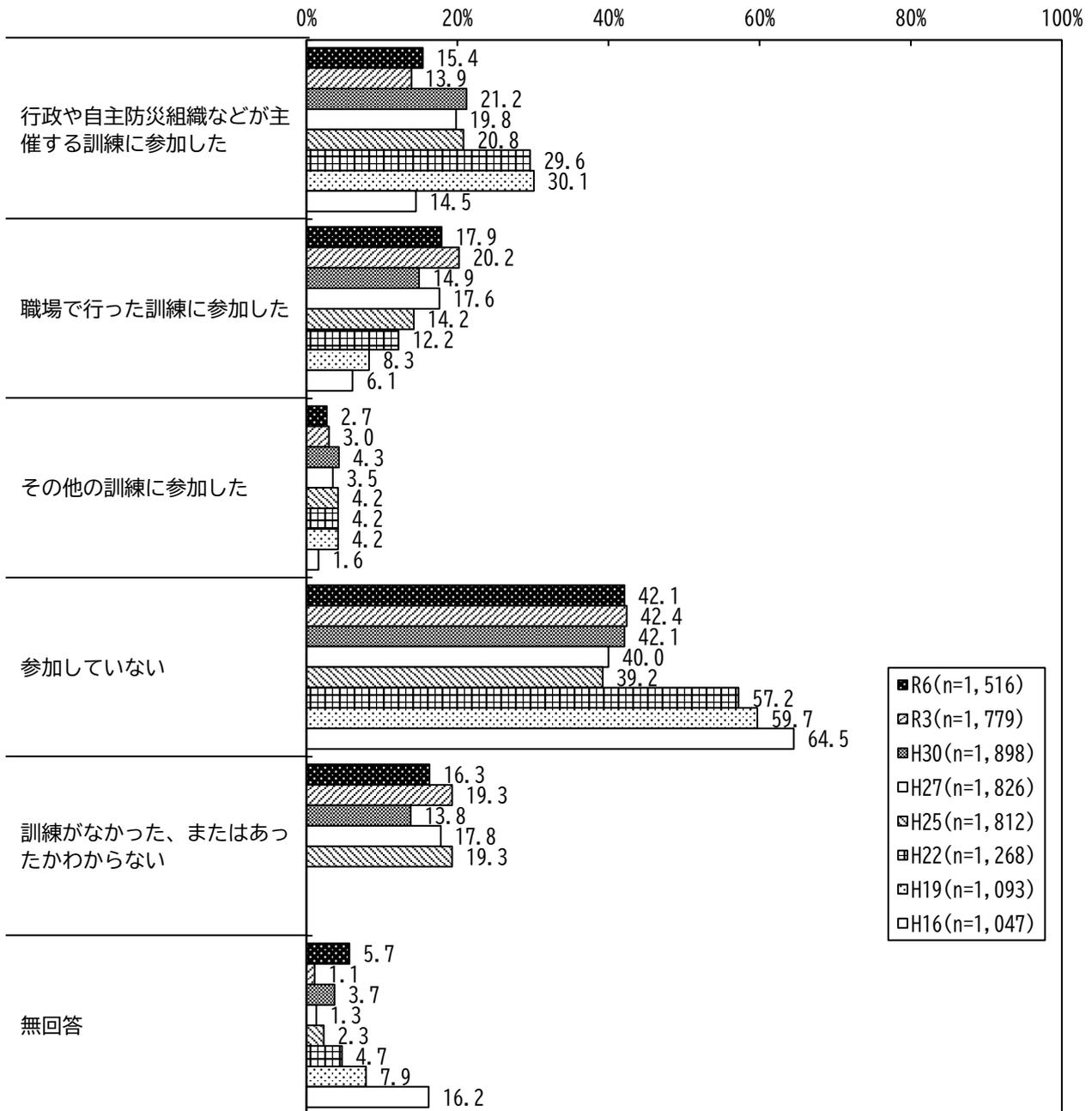
「行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した」は、平成25年後以降は約20%で推移していたが、令和6年度では15.4%と5.4ポイント近く減少した。

「参加していない」は、各年度で最も高くなっており、防災訓練の参加者を増やす取り組みをさらに力を入れる必要がある。

上段：人数
下段：%

	行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した	職場で行った訓練に参加した	その他の訓練に参加した	参加していない	訓練がなかった、またはあつたかわからない	無回答	合計
R6	233 15.4	271 17.9	41 2.7	638 42.1	247 16.3	86 5.7	1,516 100.0
R3	248 13.9	359 20.2	54 3.0	754 42.4	344 19.3	20 1.1	1,779 100.0
H30	403 21.2	283 14.9	81 4.3	799 42.1	262 13.8	70 3.7	1,898 100.0
H27	362 19.8	321 17.6	64 3.5	731 40.0	325 17.8	23 1.3	1,826 100.0
H25	376 20.8	258 14.2	77 4.2	710 39.2	350 19.3	41 2.3	1,812 100.0
H22※1	349 29.6	137 12.2	40 4.2	686 57.2	- -	56 4.7	1,268
H19※1	310 30.1	76 8.3	22 4.2	609 59.7	- -	76 7.9	1,093
H16※1	147 14.5	60 6.1	19 1.6	664 64.5	- -	157 16.2	1,047

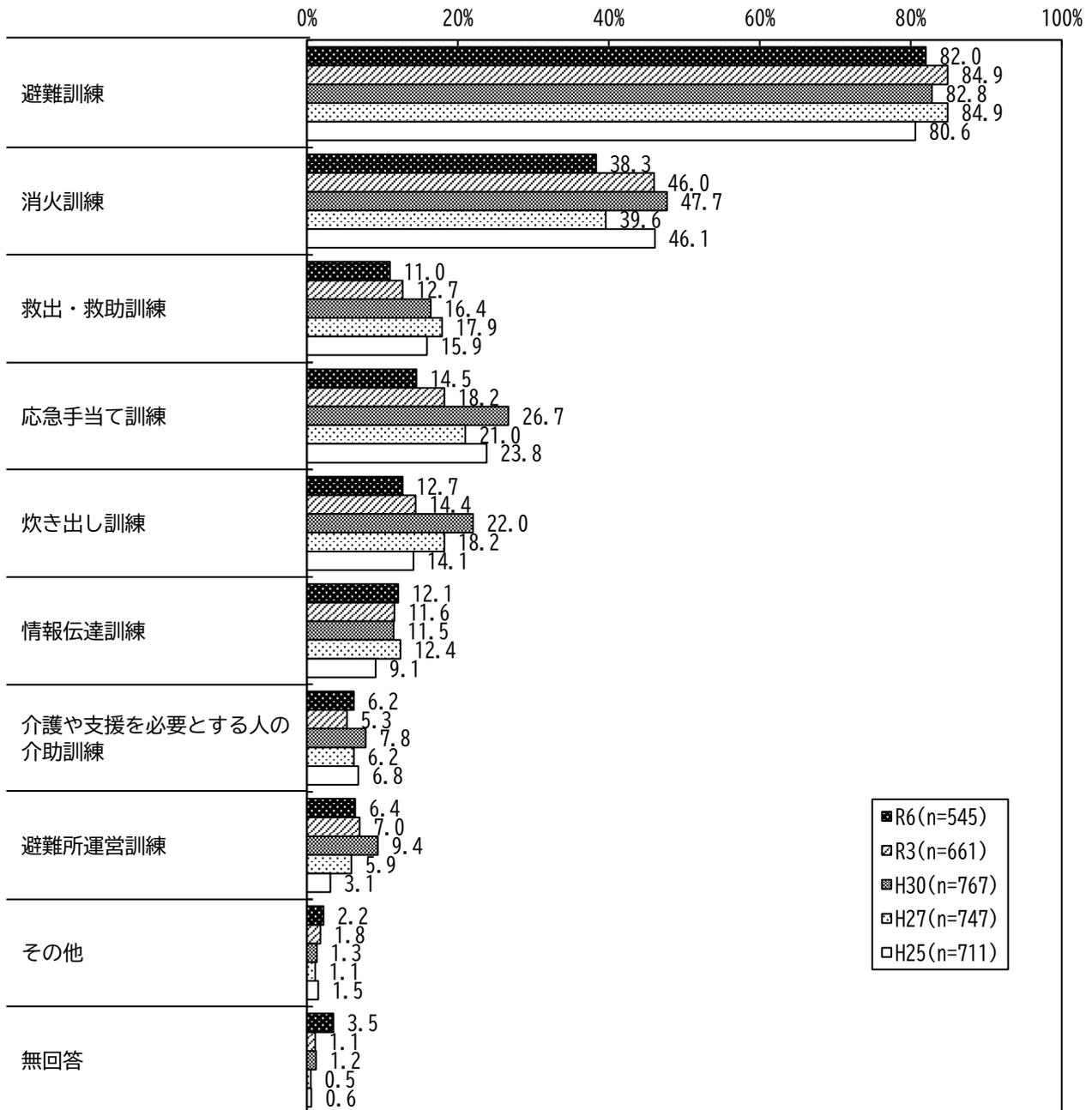
※1 平成16年度～平成22年度は複数回答



問61 問60で「1. 行政や自主防災組織などが主催する訓練に参加した」、「2. 職場で行った訓練に参加した」、「3. その他の訓練に参加した」と回答した人におたずねします。
 具体的にはどのような訓練に参加しましたか。(当てはまるものすべてに○)

各年度、「避難訓練」の割合が8割台と最も高くなっている。

	避難訓練	消火訓練	救出・救助訓練	応急手当訓練	炊き出し訓練	情報伝達訓練	介護や支援を必要とする人の介助訓練	避難所運営訓練	その他	無回答	合計	
											上段：人数	下段：%
R6	447 82.0	209 38.3	60 11.0	79 14.5	69 12.7	66 12.1	34 6.2	35 6.4	12 2.2	19 3.5	545	
R3	561 84.9	304 46.0	84 12.7	120 18.2	95 14.4	77 11.6	35 5.3	46 7.0	12 1.8	7 1.1	661	
H30	635 82.8	366 47.7	126 16.4	205 26.7	169 22.0	88 11.5	60 7.8	72 9.4	10 1.3	9 1.2	767	
H27	634 84.9	296 39.6	134 17.9	157 21.0	136 18.2	93 12.4	46 6.2	44 5.9	8 1.1	4 0.5	747	
H25	573 80.6	328 46.1	113 15.9	169 23.8	100 14.1	65 9.1	48 6.8	22 3.1	11 1.5	4 0.6	711	



問62 地域や職場の地震に関する防災訓練に、どうすれば参加する人が増えると思いますか。

(2つまで○)

各年度、大きな変化は見られなかった。

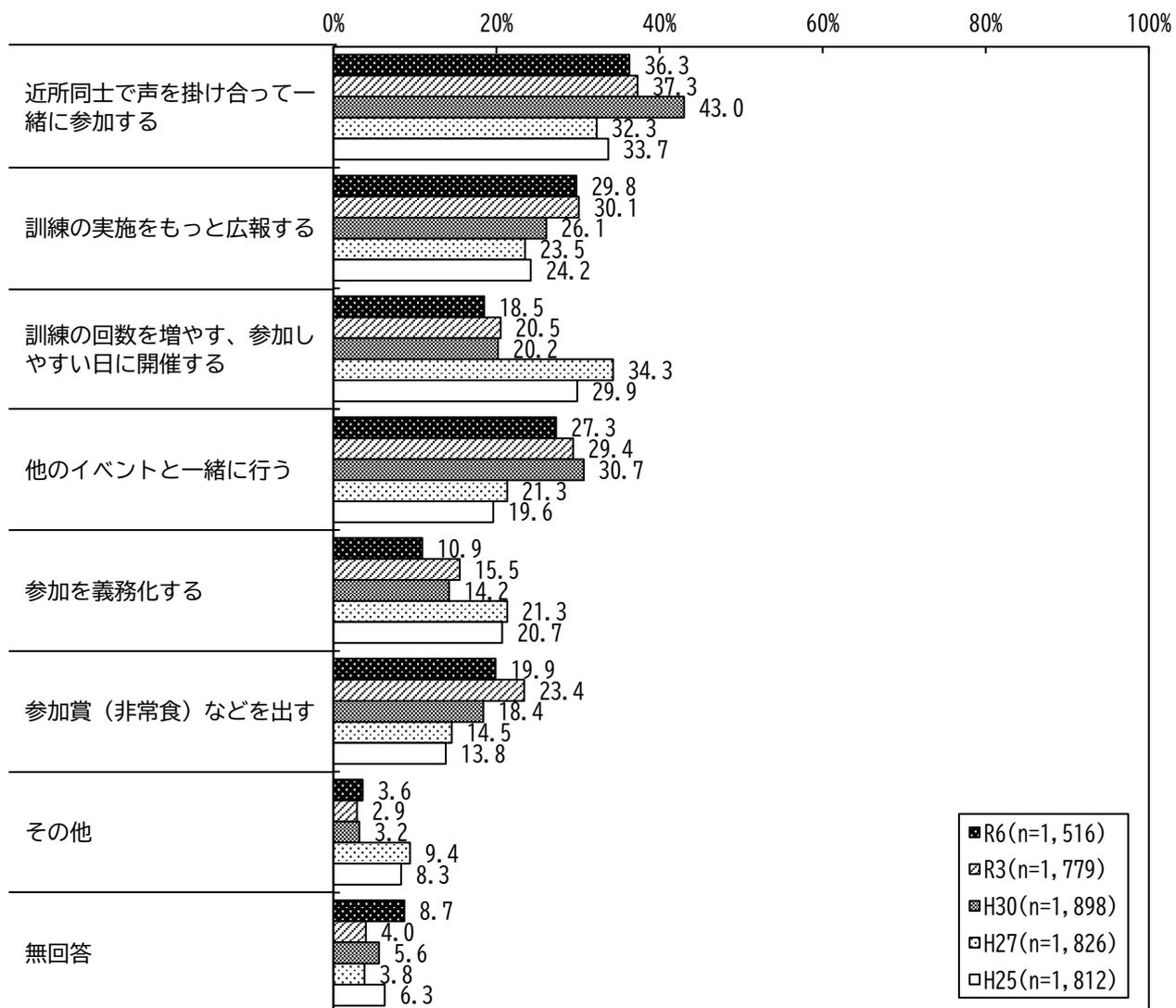
上段：人数
下段：%

	近所同士で声を掛け合って一緒に参加する	訓練の実施をもっと広報する※ ¹	訓練の回数を増やす、参加しやすい日に開催する	他のイベントと一緒に 行う	参加を義務化する	参加賞(非常食)などを出す※ ²	その他	無回答	合計
R6	550 36.3	452 29.8	280 18.5	414 27.3	165 10.9	301 19.9	54 3.6	132 8.6	1,516
R3	664 37.3	535 30.1	365 20.5	523 29.4	275 15.5	417 23.4	51 2.9	72 4.0	1,779
H30	817 43.0	496 26.1	383 20.2	583 30.7	270 14.2	349 18.4	61 3.2	106 5.6	1,898
H27※ ³	236 32.3	172 23.5	251 34.3	156 21.3	156 21.3	106 14.5	69 9.4	28 3.8	731
H25※ ³	239 33.7	172 24.2	212 29.9	139 19.6	147 20.7	98 13.8	59 8.3	45 6.3	710

※1 平成27年度以前は「パンフレットやチラシ、テレビCMなどで訓練の広報を行う」と答えた人数

※2 平成27年度以前は「非常食などを出す」と答えた人数

※3 過去1年間に地域や職場の地震防災訓練に「参加していない」と答えた人数



問63 あなたがお住まいの地域の防災力を高めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(当てはまるものすべてに○)

「地域の組織（消防団や自主防災組織）の育成や強化」の割合が、平成27年度の44.5%をピークに減少しており、令和6年度では25.5%とその差は19.0ポイントとなっている。

上段：人数
下段：%

	地震・津波を詳しく説明する広報活動の強化	地域の組織（消防団や自主防災組織）の育成や強化※1	地域の組織（消防団や自主防災組織）の資機材の整備や充実※2	実践的防災訓練の実施、訓練結果に基づく目指すべき地域づくりの話し合い	防災士の資格取得など防災リーダーの育成や研修	小中学校の防災教育の充実	消防団の強化	近隣の事業所などとの連携促進※3	地域ごとの備蓄の推進※4	地震・津波による被害を想定し、被災後の復興まちづくりを話し合う地域住民による組織づくり	普段から近所の方と顔の見える関係づくりを促進	その他	無回答	合計
R6	634 41.8	387 25.5	369 24.3	300 19.8	257 17.0	436 28.8	- -	233 15.4	589 38.9	271 17.9	519 34.2	35 2.3	133 8.8	1,516
R3	833 46.8	501 28.2	433 24.3	310 17.4	322 18.1	632 35.5	- -	283 15.9	648 36.4	356 20.0	655 36.8	39 2.2	67 3.8	1,779
H30	785 41.4	548 28.9	461 24.3	434 22.9	350 18.4	623 32.8	- -	306 16.1	683 36.0	371 19.5	783 41.3	45 2.4	119 6.3	1,898
H27	913 50.0	813 44.5	729 39.9	566 31.0	444 24.3	622 34.1	352 19.3	469 25.7	909 49.8	417 22.8	- -	57 3.1	101 5.5	1,826
H25	794 43.8	735 40.6	620 34.2	695 38.4	397 21.9	509 28.1	308 17.0	488 26.9	675 37.3	- -	- -	53 2.9	134 7.4	1,812
H22	710 56.4	519 41.5	443 35.1	291 23.2	380 29.6	405 32.3	304 24.4	431 33.9	- -	- -	- -	25 1.7	139 10.9	1,268
H19	612 55.6	448 41.1	360 33.1	262 23.7	338 30.8	349 31.5	273 25.2	371 33.7	- -	- -	- -	21 1.9	109 10.0	1,093
H16	156 52.3	111 36.7	90 30.0	75 25.0	108 36.0	75 25.3	84 28.3	102 34.3	- -	- -	- -	6 1.7	33 11.3	300

※1 平成27年度以前は「自主防災組織の育成や強化」と答えた人数

※2 平成27年度以前は「自主防災組織の防災資機材の整備や充実」と答えた人数

※3 平成27年度以前は「消防団や近隣の事業所などとの連携促進」と答えた人数

※4 平成27年度以前は「地域ごとの備蓄」と答えた人数

